

平成31年度使用小学校・義務教育学校（前期課程）  
教科書の選定にかかる観点別資料

目次

1	国語科	1
2	国語科（書写）	5
3	社会科	8
4	社会科（地図）	13
5	算数科	16
6	理科	22
7	生活科	27
8	音楽科	31
9	図画工作科	36
10	家庭科	41
11	体育科（保健領域）	46

【国語科】教科書の選定にかかる観点別資料 <使用教科書：光村図書出版>

1 国語科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得を図るための工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見開きで、コンパクトに学習の見通しがもてるような工夫がなされている。まとまりが明確である。</li> <li>○「たいせつ」でその単元で落とすはならない学習事項を示している。</li> <li>○学習のめあてに対応した、「ふりかえろう」を配し、チェック欄を設けて、学習事項の確認と評価をしやすいようにしている。</li> <li>○巻頭に「〇年生の学習を見わたそう」で学習指導要領の指導事項と関連させながら、当該学年で学習することを確認できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭ページなどを活用することで、児童が見通しをもって学習に取り組めるよう促す指導の充実につながった。</li> <li>○「たいせつ」に示された学習事項の定着を意識しすぎると、児童に教え込もうとする指導になることも考えられるが、単元を通して育てたい資質・能力を教員が意識するような授業改善を推奨する中で、児童がめあてをもって主体的に学んだり、自らの変容を振り返ったりすることができるような授業を行うことができている。</li> </ul>
講評	<p>■学習の見通しがもてるようにされており、児童にとって学ぶ手順が分かりやすい。また、学習事項が明確に示されており、児童にとってその単元で学ぶ内容がとらえやすく、基礎学力の定着が図りやすい。学習のめあてに対応した振り返りを配して自己評価しやすい。</p>	<p>■本書では、言語活動例が豊富に示されており、指導者が創意工夫できる要素が多く含まれている。また、単元ごとに「めあて」と「ふりかえり」が明示されていることにより、身に付ける力を意識した指導を行いやすいため、新学習指導要領で重視されている「主体的・対話的で深い学び」の実現に有効である。</p>

2 第1学年最初の入門期に対する配慮が適切にされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「さあ はじめよう」で、「あいさつをする」「お話を楽しむ」「鉛筆を正しく持つ」「姿勢を正す」など、いつでも振り返って基礎を確かめられるようにしている。</li> <li>○声を出したり身体を動かしたりする活動をイラストで示し、実際の活動に結びつけられるようにしている。</li> <li>○1年下付録「ひょうしょうじょう」を設け、1年間の成長の実感を味わえるようにしている。</li> <li>○どの児童にとっても読みやすくするために、単語や文節の途中での改行がなされていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返って基礎を確かめられる工夫など入門期の学びが重視されており、国語科のみならず小学校での学習の基盤づくりにつながっている。</li> <li>○文節を意識した改行がされていることにより、音読指導にも生かすことができている。</li> <li>○低学年では、「話すこと・聞くこと」での二人組による対話を重視された教材配列となっており、「対話的な学び」を実現するために効果的である。</li> </ul>
講評	<p>■単語や文節の途中での改行が避けられており、児童にとって文節による区切り方での音読が身に付きやすい。活動のイメージをイラストで明示することで、意欲を引き出し、主体的な学習に結び付けやすい。学年末の1年間の振り返りによって自分の成果を確かめやすい。</p>	<p>■入門期の児童の実態を踏まえた配慮がなされており、就学前施設での体験的な学びと小学校での学習の円滑な接続を意識した授業が進められている。</p>

3 伝え合う力、思考力や想像力及び言語感覚を養うために、3領域及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に関する教材が適切に配列され、児童が興味・関心を持ち、言語活動が豊かに生き生きと展開されるように工夫されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教材が適切に配列されており、前教材で身に付けた力を生かして学びを進めていけるようにしている。</li> <li>○「四季の言葉」で自然を愛し美しいものに感動する心を育てられるように、春夏秋冬に分けて4か所に設け、季節に応じた俳句等にふれられるように工夫されている。</li> <li>○豊かな言語活動に触れることができるように教材が配列されており、音読・暗唱したり、想像を広げたりできるようにしている。</li> <li>○言語文化、国語の特質に関する内容がバランスよく配置され、確実な力の定着が図れるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○領域ごとに学習指導要領の時数に基づいた適切な教材配置である。</li> <li>○他教科等との関連した指導を意識することで、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域の指導も重視されるようになった。</li> <li>○季節に応じた言葉を位置づけた単元が2年生以上に配列されているため、日常生活や季節と関連させた指導を行うことにより、言語文化に対して実感を持った学習を行うことができた。</li> <li>○新学習指導要領で「語彙」の指導事項が新設されたことを踏まえ、語彙指導に対する意識が高まり、学年に応じた語彙を提示した資料「言葉の宝箱」を十分に活用することにより、言語活動が充実してきている。</li> </ul>
講評	<p>■前単元とのつながりをもった学習構成により、児童の思考力・想像力を引き出しやすい。また、郷土愛を育てる季節の言葉や伝統的な言語文化、言語活動を豊かにする学習によって日本語に対する豊かな感性や表現力を育みやすい。</p>	<p>■単元で育成する資質・能力が明確であり、6年間の系統性を踏まえた教材を扱っている。また、中学年以上の説明的な文章では2教材を組み合わせた構成になっていたり、「読むこと」と「書くこと」の領域を複合した学習ができるようになっていたりするなど、優れた教材構成になっているため、習得した力を生かしやすい。</p>

4 基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身に付けることができるように、付けたい力を明確にした言語活動が効果的に取り入れられ、系統的・段階的な学習の配列がなされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導事項をとらえやすくするための言語活動が具体的に示されている。</li> <li>○「読むこと」の単元には、手引きがあり、「何を」「どのように」学ぶのが明示されていることから、見通しをもって主体的に学ぶことができる。また、振り返りをしやすくすることにもつながっている。</li> <li>○話すこと・聞くこと単元の配分、配列がよく、各単元には、具体的な言語活動が記載され、身に付けたい力を明確に示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言語活動の内容が単元名を表していたり、手引き等で学習手順が具体的に示されていたりすることで、どのような言語活動を設定すれば良いのかを意識し、系統的・段階的な指導を行うことができるようになった。</li> <li>○手引きに示されている手順を基に学習を進めることで、児童が見通しを持って、主体的に学習を進めることができています。</li> <li>○教科書に記載された言語活動を行うことが目的になりがちであったが、単元で育成する資質・能力を明確にすることで、言語活動等を充実し、適切な評価もできた。</li> </ul>
講評	<p>■話すこと、聞くことの領域の充実と言語活動が豊かに生き生きと展開されるような構成により、児童の伝え合う力、思考力や想像力を育みやすい。また、学習の手引きにより、児童が見通しをもって主体的に学びやすい。</p>	<p>■他社でも手引き等で、具体的な言語活動が示されているが、本書は習得と活用のそれぞれの観点から言語活動が提示されているため、児童の学習状況に合わせた適切な言語活動につながっている。</p>

5 本文の表記や挿絵・写真・図表・グラフ・その他の資料について、内容が適切であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて色覚の特性への配慮がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「季節の言葉」では、イラストや写真を充実させ、想像を広げる手がかりとなるように工夫している。</li> <li>○配色、配置がよく、見やすい。</li> <li>○図書館の様子分かるように、写真を用いて、イメージしやすくしている。</li> <li>○活動の様子分かるように、話し合いや発表などの姿を写真やイラストで示し、分かりやすくしている。</li> <li>○高学年は、中学校との接続を考慮して、上下巻を一冊にまとめている。高学年としての自覚を高め中学校入学への環境変化に適応しやすくするための工夫である。一年間の見通しがもちやすい上、振り返りにも役立つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○効果的なイラストや写真、資料を扱っており、またイラストの色使いや低学年での線の太さまで細かいところまで配慮されていることで、授業が行いやすい。</li> <li>○色の組み合わせや色に頼らず形で判別できる工夫を取り入れたりしており、全ての児童にとってわかりやすく使いやすい。</li> <li>○低学年から、本文と挿絵、写真等を関連づけるなど、教材文と資料を結び付けて読む活動の充実により、「言葉による見方・考え方」を重視した読みができるようになってきた。</li> </ul>
講評	<p>■やわらかい色調、配色やイラストや写真の配置など色覚の特性への配慮があり、すべての児童にとって見やすく分かりやすい。また、写真やイラスト、ふきだし等の挿入により視覚による理解しやすい。</p>	<p>■教材や資料の工夫、ユニバーサルデザインの観点については、巻頭から巻末に至るまで、色や線の太さを工夫するなど学習上重要な内容を判別しやすくなっているため、すべての児童にとって、教材の理解を深めるための支援となっている。</p>

6 実生活の中で生きてはたらく言語の力を培うために、身に付けた基礎的・基本的な技能の活用を図る様々な学習活動が位置付けられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども同士のやり取り、コミュニケーションの取り方を多くの登場人物を配して分かりやすく提示している。</li> <li>○上巻冒頭に話すこと・聞くこと領域に関して、「ことばのじゅんぴうんどう」を設定し、学習活動につなぐようにしている。</li> <li>○手紙の書き方が示され、実生活に生かせるようにしている。</li> <li>○「この本読もう」で学んだことを生かして日常の読書生活に広げることができるように、多くの本を紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな読書生活につなげるための図書館活用について、系統的な単元配列がされており、学校司書と担任との連携の充実も相まって、図書館活用が推進され、各教科等に生かされるようになってきた。</li> <li>○アイスブレイク教材「言葉の準備運動」を年度当初だけでなく、継続的に取り扱ったり、当該学年の枠を超えて活用したりすることで、コミュニケーション能力の向上や学級づくりに生かすことができた。</li> <li>○「この本読もう」で紹介された本を学年と図書担当者が連携することで、計画的に学校図書館に配架されるようになり、教材と関連した指導が行われるようになった。</li> </ul>
講評	<p>■コミュニケーションの取り方、手紙の書き方などの学びが、児童の実生活で生かしやすい。多くの本が紹介され、読書との関連が図られていることで、児童にとって読書生活充実につながりやすい。また、単元ごとにさまざまな言語活動を行い、読む・書く技能の習得がしやすい。</p>	<p>■図書館活用をはじめ、実生活の中で生きる学習活動の位置付けや系統性、段階が明確であり、巻頭・巻末にも既習事項や学習の見通しが示されているため、児童が自ら考え生かす場を判断して活用することができている。</p>

7 他教科，道徳，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動，また，環境教育，情報教育，生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がみられ，児童の追究意欲を高める工夫や，学んだことを活用して，さらに発展的な学習につながるような内容が取り入れられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解，課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報告する文を書く，例をあげて説明する，資料を使って発表するなど，各教科等の学習において活用できる言語活動を多く取り入れている。</li> <li>○「本を使って，調べよう」で各教科等に生かすことができる調べ方を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会科の「情報教育」や理科の「環境教育」との関連のある題材など，各教科等の学習と関連した教材を用いている。新学習指導要領で重視されているカリキュラム・マネジメントの視点を踏まえ，他教科との関連した指導に生かしやすい。</li> <li>○国語科で培った知識及び技能を各教科等に生かそうとする指導が見られるようになった。</li> </ul>
講評	<p>■各教科等の学習に活用できる言語活動を多く取り上げ，表現様式に応じた書き方や説明の仕方などを具体的に示し，理解しやすい。また，図書資料の活用の仕方が紹介され，各教科等での調べ方が分かりやすい。</p>	<p>■言語活動の中に，国語科で培った知識及び技能を活用し，思考力・判断力・表現力等を育成できる場面を設定しているため，生活科での観察記録文や総合的な学習の時間での表現活動などと関連させて，必然性や目的意識をもって学習を進めやすい。</p>

8 基本的人権の尊重や道徳的実践力育成の観点から，内容や表現が適切であるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解，課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学年で，戦争を扱った教材を配列し，平和な時代に生きる自分と比べて，命の大切さを考えられるようにしている。</li> <li>○「手紙を書く」単元で，ありがとうの感謝の気持ちを伝えることを大切にしている。</li> <li>○生命の尊厳や生きることの意味を考えることのできる教材を配して，自分も他者も愛する心情を育てられるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○題材においては「生命の尊重」や「情報化社会」，言語活動においてはコミュニケーション能力を育む教材などを扱っており，国語科の学習を通して道徳的な心情や実践力を育成することができた。</li> </ul>
講評	<p>■命の尊さ，生きることの意味を考える学習を通して，児童の豊かな感性や思いやる心，生命尊重の態度を育みやすい。また，感謝の気持ちを伝える単元により，身近な人への思いを広げやすい。</p>	<p>■基本的人権や道徳的実践力育成の観点からの教材が配列されているとともに，教材文の内容だけでなく，言語活動にもこうした視点を明確に取り入れていることにより，各教科等に生かす視点をもって学習を進めることにつながっている。</p>

【国語科（書写）】教科書の選定にかかる観点別資料 <使用教科書：教育出版>

1 書写の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得を図るための工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○表紙裏に「学習のめあて」を7つの項目（めあての確認・ためし書き・教科書の文字との比較・ポイントを確認して練習・まとめ書き・他の文字に生かす・ふり返り）に分けて明記し、その学年で身に付けさせたい力をはっきり示していて、分かりやすい。</p> <p>○国語教科書との関連を明確に示している。</p>	<p>○「学習のめあて」を活用した指導の充実を図ることができている。</p> <p>○国語科の教科書との関連を十分に生かすことができない面もあったが、国語科の年間計画との連動を見直していくことでカリキュラム・マネジメントの視点を踏まえた指導に生かすことにつながっている。</p>
講評	<p>■学習の進め方を7つの項目（めあての確認・ためし書き・教科書の文字との比較・ポイントを確認して練習・まとめ書き・他の文字に生かす・ふり返り）に分けて明示されており、学ぶ手順が分かりやすい。また、国語科との関連を図った教材を配列して、付けたい力が理解しやすい。</p>	<p>■3年生以上の教科書にある「学習の進め方」には、めあての確認や学習の振り返りなどが明示されており、各学年での学習導入の際に確認することにより、年間を通して、見直しをもった学習を進めることができている。</p>

2 毛筆学習の成果が硬筆書写に生かされるように、教材構成の工夫がなされ、関連学習の配慮がみられるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○毛筆ページにも硬筆で書いてみる教材文字を書き込む欄を設け、基礎・基本をおさえて確実に書く力を身に付けられるように工夫している。</p> <p>○「穂先の向きや通り道」が明確になるよう、朱墨と薄墨を使って記されており、筆使いが分かりやすく示されている。また、「ここが大切」でポイントをおさえた解説が記されている。</p>	<p>○毛筆指導が中心となり、日常生活に生きる書く力（硬筆で書く力）につながりにくい面もあったが、硬筆で教材文字を書き込む欄を活用することで、日常生活との関連を意識した指導の充実につながっている。</p> <p>○朱墨と薄墨を使って穂先の通り道が明確に示されていることで、筆使いが分かりやすいため、教員が指導に役立てるだけでなく、児童自身が教科書を参考にして主体的に学ぶことができている。</p>
講評	<p>■毛筆教材文字を硬筆で書き込む欄を設けることで、基礎・基本をおさえて確実に書く力が身に付けやすい。また、穂先の向きや通り道が明確となるよう、朱墨と薄墨を使って説明して、筆遣いを分かりやすくしている。その上、「ここが大切」でポイントをおさえた解説を付けられているので、より理解しやすい。</p>	<p>■「ここが大切」など、児童がつまづきやすいポイントが解説付きで記されているため、児童への支援を事前に準備して指導にあたることができおり、児童自身の課題把握と主体的な学習につながっている。</p>

3 児童が興味・関心をもち、自ら課題を見つけることができるように、紙面構成や教材内容に工夫がなされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○見開き2ページで学習内容が分かりやすく構成されている。</p> <p>○めあてに則した振り返りチェック欄が設けられ、自己評価が明確にできるように工夫されている。</p> <p>○めあてに基づいて、まず試し書きを行い、教材文字と比べて自分の課題に気付かせた上で、まとめ書きができるように学習の流れが明確に示されている。</p>	<p>○1時間のめあてが明確に示されていることにより、一人一人の児童がめあてを達成するために、課題解決的な学習を進めることができている。</p> <p>○明確なめあてをもって学習を進めることにより、振り返りチェック欄も有効に活用することができている。</p>
講評	<p>■見開き2ページを使って、学習内容を分かりやすく構成することで、児童が見通しをもちやすい。また、自己評価がスムーズにできるよう、めあてに則した振り返りチェック欄を設けるとともに、「試し書きの後、教材文字と比較して自己の課題に気付き、まとめ書きをする」という一連の学習の流れが明示され、自己評価しやすい。</p>	<p>■主体的な学習を進めることができるよう構成されており、一人一人の児童が課題意識をもって学習を進めることができている。さらには振り返りチェック欄を活用し、友だち同士での対話的な学習を促すことで、お互いの良さや課題に気付いたり、さらなる課題を設定したりすることにつながっている。</p>

4 重点的に厳選された教材が効果的に配列されており、書写要素も系統立てて明確におさえられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○巻頭に書写への心構えが記され、学習の意欲を高められるようにしている。</p> <p>○国語との関連を図った硬筆教材には、「竹取物語」「枕草子」や短歌や俳句等の日本文化への造詣が深まるような教材を提示している。</p>	<p>○書くときの姿勢や筆記具の持ち方などが掲載されている書写の心構えが児童の意欲的な学びの手立てとして有効である。</p> <p>○硬筆教材として、古典や俳句など我が国の伝統的な言語文化に関わる教材が扱われており、国語科の教材と関連を図ることで指導の効果を高め、児童は言葉による見方・考え方を働かせながら、言葉への自覚を高めることができている。</p>
講評	<p>■全学年にわたって巻頭に書写への心構えが記され、学習の意欲が高めやすい。また、国語との関連を図った硬筆教材では、「竹取物語」や「枕草子」等の古典や短歌・俳句等にふれることを通して、日本文化への造詣を深めやすい。</p>	<p>■硬筆教材では、古典や俳句も扱われており、新学習指導要領の重点の一つとして取り上げられている、伝統的な言語文化についての理解を深める指導につなげることができている。</p>

5 本文の表記や挿絵・写真・図表・グラフ・その他の資料について、内容が適切であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて色覚の特性への配慮がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○写真や図版等を効果的に取り入れている。</p> <p>○キャラクターやマーク、コーナー分けなど様々な手法を使い、たくさんの情報を簡潔に取り入れている。</p>	<p>○効果的な写真や図版が取り入れられ、キャラクターやマークなど様々な手法が用いられていることで、低学年での鉛筆の持ち方・書き方の指導や、中学年での毛筆学習の導入の指導がしやすく、また、児童にとっても見やすい紙面になっており、意欲的に学習に取り組むことができている。</p>
講評	<p>■写真や図版等を効果的に取り入れるとともに、キャラクターやマークを随所に配して、指導事項を簡潔に示しているため、イメージを描いて学習しやすくしている。また、「ここが大切」等のコーナーを活用して、多くの情報を簡潔に取り入れて示すような工夫がなされているため、大切なことがらを意識しやすい。</p>	<p>■写真や図版など、視覚的な工夫がなされていることで、児童が具体的なイメージをもつことができ、ポイントを意識した学習を進めることができている。</p>

6 他教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がみられ、児童の追究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるような内容が取り入れられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○他教科との関連が図れるように、横書きの指導を系統的に取り入れている。</p> <p>○表現様式の違いを明確にした書き方のポイントを説明している。</p> <p>1年…算数の横書きの書き方</p> <p>2年…観察カード、文章題・数字の書き方</p> <p>3年…原稿用紙の書き方、調べたことをまとめる、俳句を書く（文字の大きさと行の中心）、はがきの書き方</p> <p>4年…手紙の書き方、報告文、短歌・俳句（配列を整えて書く）</p> <p>5年…ノートのとめ方、用紙全体のとめ方、古典を味わう、筆記用具の種類、校内掲示物、メモの取り方</p> <p>6年…目的に合わせて書く、古典を味わう（配列を整えて書く）、発表資料を書く</p>	<p>○本書には各教科等に生かせる学習内容が系統的に取り入れられおり、各教科等の年間計画との連動を見直していくことでカリキュラム・マネジメントの視点を踏まえた指導に生かすことにつながっている。</p> <p>○硬筆教材には調べ学習のまとめ方や、校内掲示物の作り方、手紙の書き方など他教科での学習活動や日常生活に関連した内容が各学年に掲載されており、これらの教材を意識的に活用することで、他教科での学習や学校生活での「書く力」の向上につなげることができている。</p>
講評	<p>■他教科との関連が図れるように、横書きの指導を系統的に取り入れるとともに、表現様式の違いを明確にした書き方のポイントを説明しているため、他教科等で活用しやすい。</p>	<p>■各学年に各教科等との関連を図ることができる教材が取り入れられているため、各教科の学習を行う際に生かしやすくなっている。</p>

7 基本的人権の尊重や道徳的実践力育成の観点から、内容や表現が適切であるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○道徳的心情を養い、読み手を意識した書き方を考えられるように教材を選んでいる。</p> <p>1年…鉛筆の持ち方や書くときの姿勢</p> <p>3年…毛筆の学習時のよい姿勢、点画の種類</p> <p>3・4年…学年のまとめとして、これまでに学習してきたことや書写用語について記載されている。</p> <p>5年…目的に合った筆記用具と用紙について知ろう、校内掲示物を書く</p>	<p>○教材として取り上げられた文字の意味や文字に対する自分の思いを考えるような場面を設定することで、人権尊重につながる学習に取り組んでいる。</p>
講評	<p>■読み手を意識した書き方を考えて書くという活動を通して、道徳的な心情を養うことに適した教材文字を選択して取り上げ提示していることから、児童の豊かな感性や人を思いやる心を育みやすい。</p>	<p>■児童の豊かな感性や思いやりの心を育てる教材が取り扱われており、基本的人権の尊重や道徳的実践力の育成を意識した授業に取り組まれている。</p>

【社会科】教科書の選定にかかる観点別資料 <使用教科書：東京書籍>

1 社会科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得を図るための工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大切な言葉を「ことば」というコーナーを作り説明している。</li> <li>○「まなび方コーナー」で学習のヒントを示してある。</li> <li>○まとめて書く活動を設定し、基礎基本の定着を目指している。</li> <li>○単元のまとめは、ノートづくりや新聞づくりなど様々な表現活動が例示されている。</li> <li>○5年のわたしたちの国土で国土の広がりや領土問題、6年の歴史学習の終末で領土問題について述べている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読み取る」、「表す・伝える」など社会科の特質に応じた学習活動の進め方が示されている「まなび方コーナー」は児童が課題を追究したり、解決したりする活動の充実を図るうえで有効である。</li> <li>○学習問題ごとに「つかむ、調べる、まとめる、いかす」学習が設定されており、問題解決的な学習が展開しやすく、また、「まとめる」で書く活動を行うことで、習得した知識の定着が図りやすい。</li> <li>○領土問題や情報化社会など、学習内容を社会生活を営む上で考えるべき内容と関連付けて示されており、実生活との関わりについて考える学習が進められている。</li> </ul>
講評	<p>■大切な言葉の説明、「学び方コーナー」など学習のヒントの例示がたくさん表されており、自分で学習を進めたり、基礎的・基本的な内容の定着を図ったりするための工夫がされている。また、まとめの表現活動もノートや地図、表など様々な表現方法の例示がされていて、興味をもつとともに内容の定着もはかれ、児童にとって授業におけるイメージがもちやすい。</p>	<p>■問題解決的な学習が展開しやすい構成であり、基礎的・基本的な内容の習得につなげることができている。また、社会科での学びを実生活に結び付けて考えることが児童の社会への関心を高めることにつながっている。</p>

2 観察や調査・見学、体験などの具体的な活動やそれに基づいて考える活動・表現活動を大切にしているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○室町レポートを取り上げて体験的活動が記載され、新聞をもとに考えを交流し、レポートにまとめる活動を取り上げている。</li> <li>○振り返りは小单元ごとに多様な言語活動で、思考・判断・表現の力が高められるように設定してある。「いかす」の場面では、学習活動をもとに様々な表現活動をもとに様々な表現方法で社会参画を促している。</li> <li>○それぞれの単元で見学の様子を写真で紹介している。 見学後の表現（ノート・地図）が掲載されている。</li> <li>○「いかす」や「ひろげる」で実際の社会と関わり方を示したり、身近な興味を高めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「まとめる」学習活動としてはこれまで新聞づくりが多かったが、教科書の言語活動や表現活動の事例を手がかりにして工夫の幅が広がってきている。</li> <li>○「まなび方コーナー」に示される学習の視点や方法、「いかす」、「ひろげる」コーナーに示される実社会との関わり方等を手がかりに、調査や収集した情報を課題解決にどのように活用するかを学習する活動につなげることができている。</li> </ul>
講評	<p>■体験的な活動では、実際の体験の様子を写真で示すなど具体的な活動の例示があり、活動のイメージをもちやすくしている。まとめではノートや地図など様々な表現活動が具体的に示されており、まとめ方の工夫ができたり、社会に対する興味や関心を高めたりしやすい。</p>	<p>■調査・体験活動では、問題解決的な学習の流れに位置づけて活動の仕方が示されており、主体的な活動が進められるようになってきている。</p>

3 社会の事実・事象に対して興味・関心を高めるための工夫がみられ、内容についての記述が分かりやすく、意欲的に学習に取り組めるような工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○まなび方コーナーを設けたり、学習の進め方（つかむー調べるーまとめるー生かすー広げる）を提示して、問題解決的な学習活動ができるよう配慮している。その学習の過程をそれぞれのページに示している。</p> <p>○単元の冒頭に興味をひくような大きな写真を掲示したり、小さな写真や図、グラフを記載したりして、様々な興味をもたそうとしている。</p> <p>○会話の部分と説明の部分を同じぐらい取ってわかりやすく説明している。</p>	<p>○「つかむ、調べる、まとめる、いかす」の4段階の学習過程が示されており、見通しをもって学習を進めることができている。</p> <p>○児童同士の話し合い活動の場面で具体的な意見のやり取りが紹介されており、児童は考えが深まったり、広がったりすることをイメージして学習を進めることができている。</p> <p>○単元の導入のページに単元に関連する写真や資料が掲載されており、それを基に学習問題を予想したり、つくったりする活動を行っており、児童が問題意識を高めて学習に臨むことができている。</p> <p>○調べるための資料が児童のまとめや地図、手描きのような地図など様々な形式で示されており、資料活用の技能を高めることにつながっている。</p> <p>○問題解決的な学習の充実により、社会的事象の見方・考え方を働かせて各種資料から社会的事象を捉え、その意味や特色を考える学習活動が進められるようになってきている。</p>
講評	<p>■学習の仕方の提示、問題解決的な学習の過程「つかむ、調べる、まとめる、いかす」などの表記が各ページにあり、どの学習過程を勉強しているかがわかりやすい。大きな写真や見やすい図やグラフが用いられており、興味をもって学習が進められるようになっている。説明の文章では、会話の部分と説明の部分が同じぐらい示されていて、色分けもされていて子どもたちが考えや内容を深めやすくなっている。</p>	<p>■社会の事象に対し興味・関心が高まるよう構成や写真等が工夫されており、児童の主体的な学習を促すことにつながっている。また、学習過程に、話し合い活動や文章で考えをまとめる活動等の言語活動を取り入れることで、思考力・判断力・表現力等の向上につなげることができている。</p>

4 選択事例の扱いにおいて、弾力的な指導計画が作成できるよう配慮されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○目次に選択とわかる記載がある。選択のページにも選択と書かれている。</p> <p>○選択の単元でも多くのページを使っているので選択した単元が教科書で学習しきれるようにしている。</p>	<p>○選択事例の単元では学習の進め方が同じになるように学習過程や資料の配置がされており、学校や児童の実態に応じて選択して学習が進められている。</p>
講評	<p>■目次や選択事例の単元のページに、どの単元との選択であるかなどの表記がしてあって分かりやすい。また、選択事例の内容が豊富に示されており、子どもたちの興味・関心に合わせた学習が展開できるように配慮されており子どもたちにとって使いやすい。</p>	<p>■新学習指導要領で重視されるカリキュラム・マネジメントの視点を踏まえた単元構想や授業展開を見据えても十分に対応できる。</p>

5 本文の表記や挿絵・写真・図表・グラフ・その他の資料について、内容が適切であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて色覚の特性への配慮がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料に大きく通し番号を付け、特定しやすく工夫している。</li> <li>○内容に合わせた適切な写真や図を使用している。</li> <li>○淡い色を基調とし半透明等を用いて文字やグラフを見やすくしている。配色やページ構成、字体やフォントが統一されていて読みやすい。年表の配色、資料ごとの背景色にも配慮があり見やすくなっている。</li> <li>○色だけでなく形や模様を付けるなどカラーユニバーサルデザインが使われている。</li> <li>○子どもの会話で説明を加えたり、インタビュー形式で説明したり、文章で説明したりして、資料の読取りの効果を上げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○写真や資料には見開き単位で番号が付されており、授業場面で活用している資料を児童に示す際にわかりやすい。また、資料ごとの背景色にも配慮がされており、必要な情報を捉えやすく、児童が学習に取り組みやすい。</li> <li>○学習内容への理解につながる写真や資料、イラストが用いられており、複数の資料を関連付けて児童に考えさせる授業の工夫が進められている。</li> </ul>
講評	<p>■資料の通し番号を付けるなど調べるための配慮がみられる。内容に合わせた写真や図、資料やグラフの大きさや色合いが適切である。そして、グラフや図の矢印などの色使いなど細部にわたっての工夫もみられ、すべての児童への配慮がされていて活用しやすい。</p>	<p>■ユニバーサルデザインの観点から、児童が学習上重要な内容を判別しやすいようになっている。</p>

6 社会や暮らしの問題に目を向け、具体的な解決策を考えたり提案したりするような、社会の形成に参画する力を育てるために、自ら調べて考える問題解決的な学習が展開できるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○選択教材として東日本大震災を取り上げ、災害復興について学び、政治の関わり、支援のあり方、町づくりについて詳しく調べられるように工夫されている。</li> <li>○単元を通しての学習問題や学習過程（「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」）が明記されており、単元の問題解決的な学習がイメージしやすい。1時間の学習問題にあたる記述があり、授業がイメージしやすい。</li> <li>○「いかす」の場面で表現活動とともに、話し合い活動による社会の形成に参画する力につながる学習場面が想定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新学習指導要領に示されている「社会への関わり方を選択・判断」する学習場面が「いかす」学習過程として示されており、問題解決的な学習を通して思考力・判断力・表現力等を高める学習活動に活用できている。</li> <li>○選択する事例として災害を取り上げていることで、それぞれの学年で地域社会や政治のはたらきにおける災害対応についての具体的な内容を学び、主体的に関わる態度を身に付ける指導が進められている。</li> </ul>
講評	<p>■東日本大震災など今の日本の大きなできごとと十分にページを割いて取り上げ、社会に対する興味をもたそうとしている。「つかむ」の学習過程で単元を通しての学習問題が設定されていて追究しやすい。それぞれの学習過程が明記され、1時間ごとの学習問題も示され工夫されている。まとめに様々な表現方法が示され、「いかす」の学習過程でより深く考えられるようにしてあり、問題解決の方法の定着やよりよい社会への参画への意識を高めることを目指されていて深めやすい。</p>	<p>■災害について扱う内容が社会における具体的な取組として示されており、関心を高めつつ、社会全体の課題として自分にできることを考える指導に活用されている。「いかす」場面では様々な立場から解決する取組が示されており、多角的に考える手がかりとなっている。</p>

7 社会の変化に対応して、伝統や文化を尊重し、郷土に対する誇りと愛情を育てる教育を進めるための学習教材や学習活動が適切に取り上げられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○6年で、御伽草子の絵があり、現在にも伝わっている昔話があることが分かるようになっていいる。浮世絵の製造工程や浮世絵が海外に影響を及ぼしたことが分かる資料が掲載されている。</p> <p>○3, 4年で、「秋祭り」「歌やおどり」「昔から地いきの人に受けつがれてきたことをいろいろの人が受けつぎ伝えていく努力」「県内の伝統的な産業を大切にしたい」「姫路城をいつまでも大切に守り」「昔から続いている～を伝えたい」が取り上げられている。様々な行事や人の関わりを紹介し、興味や関心をもたせようとしている。</p> <p>○5年で、「森林の働きや環境を守る取組」において京都市を事例とした教材が取り上げられている。</p>	<p>○6年の歴史学習においては、室町文化を取り扱っているが、当時の文化が現代に継承されていることや児童が茶道や華道の体験を行っている様子を示しており、伝統や文化が大切に受け継がれてきたものであることがわかりやすく記載されており児童の理解につなげやすい。</p> <p>○中学年の学習においては、教科書に示されている各地域の事例を扱うことにより、各地で伝統的な産業や行事が受け継がれていることについて関心を高めることができるようになってきている。</p>
講評	<p>■各地に伝わる伝統に関わる事例が豊富で、歴史のできごとと現在との関わりを表記している。京都に関わる事例を題材とした単元の設定により、京都市の子どもたちに伝統の尊重や郷土への愛情を高めることが意識されていて使いやすい。</p>	<p>■歴史的な事例を現代との関わりで示していることが多く、児童が今の生活と関連付けて歴史や伝統について捉えることができるような指導に生かされている。京都の事例も示されており、京都の特質に触れることができるようになっている。</p>

8 他教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がみられ、児童の追究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるような内容が取り入れられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○各産業における環境に配慮した取組が紹介されている。</p> <p>○「ひろげる」で単元で学習した内容を発展的にとらえられるようにしている。</p>	<p>○社会で働く人々の姿が紹介されており、生き方や社会について考える手がかりとなっている。</p> <p>○自然災害や情報化社会、環境問題などの今日的な課題がとりあげられており、他教科とも関連づけながら、児童が自身の課題として考えることができるよう取り組まれている。また、環境問題には京都市の事例が紹介されており、児童が実生活と関連付けながら、意欲をもって学習に取り組むやすい。</p> <p>○一部の単元に設定されている「ひろげる」を活用することで、発展的な学習につなげる授業にも取り組まれている。</p>
講評	<p>■環境への取組を具体的に表記し、発展的な学習を明確に位置付けることで子どもたちの追究意欲向上につながり、学んだことの活用がしやすい。</p>	<p>■自然災害や情報化社会、環境問題などの今日的な課題に対し、課題意識をもって主体的に調べたり考えたりする学習を通して、児童が社会に対し進んで関わろうとする態度を育むことをねらいとした授業を展開しやすい。</p>

9 基本的人権の尊重や道徳的実践力育成の観点から、内容や表現が適切であるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○多くの写真で男女が写っているものを使っている。会話的な吹き出しも男女の会話にしている。</p> <p>○3、4年で、スーパーマーケットのサービスの学習において、お年寄りや体の不自由な人に対するサービスを取り上げ、視点を広げている。</p> <p>○5年で、障害のある人や情報モラル、アイヌ民族などの人権尊重に関わる記述が適切にされている。</p> <p>○6年で、識字・多文化共生学級について取り上げている。歴史学習を終えた時に、人権の観点から現在を見つめ、これからの日本について考える学習を設定している。</p>	<p>○5年生で取り扱われている公害問題や情報モラルの学習について、基本的人権が守られる社会という視点で学習問題が示されており、人権尊重を基盤とする社会の実現に向けた取組が重視されている。</p> <p>○人権尊重の視点からこれからの日本社会の発展について考える内容が示されており、人権尊重を基盤とする社会形成への道すじを学ぶことができている。</p>
講評	<p>■使用写真や内容に様々な人の人権との関わりの表記がみられ、今を生きる子どもたちに基本的人権の尊重の意識を高めやすい。</p>	<p>■人権尊重の視点に立った社会の様子が示されていることで、児童が人権の視点で社会を見る能力や態度を意識化しやすい。</p>

【社会科（地図）】教科書の選定にかかる観点別資料 <使用教科書：帝国書院>

1 全図と部分図の関連及び基礎的・初歩的指導について配慮されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解，課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一つ一つの地図や資料をコンパクトにして1ページに多く載せたりしている。</li> <li>○「地図帳の使い方」で地図帳全体の特徴と使い方を分かりやすく説明するとともに、「地図のなりたちとやくそくごと」で地図の基礎的な知識について説明している。地図帳の使い方が子どもにわかりやすい。</li> <li>○縮尺のめもりを各ページにつけている。</li> <li>○鳥瞰図などの地図資料，絵や図を使つての説明的な資料を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の各地方の地図では，地域の産業や特産を示す絵記号や地域の特徴を示す図が掲載されており，その地域への興味・関心を高めることにつながっている。</li> <li>○「地図のなりたちとやくそくごと」には「写真」や「絵地図」を経て最終的に「地図」として表記される成り立ちや方位，地図記号等の基礎的な知識が示されており，資料を活用した学習活動の充実に有効である。</li> <li>○索引を用いた地名さがしなど，短時間で地図活用のスキルを磨く指導が充実してきている。</li> </ul>
講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>■一つ一つの地図や資料をコンパクトにして多くの資料がのせられるようにしている。地図帳の使い方を詳しく説明するとともに，地図のなりたちなどの基礎的な知識の説明も加えられ児童にとってわかりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域の特徴がイラストで示されるなど地図に親しみがもちやすい工夫がされていたり，地図のなりたち等の基礎的な知識が巻頭に示されており，基礎的・初歩的指導において活用できている。</li> </ul>

2 資料が新しく，適切に表現され，必要に応じて選択，活用しやすいように工夫してあるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解，課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国土の位置，地形や気候などの自然の概要，資源や産業の現状と土地利用等との関わりについて地図と共に豊富な資料を用いて取り上げている。町の様子などを多くのページにイラスト・鳥瞰図で説明している。</li> <li>○世界文化遺産，世界自然遺産が日本地図上に緑に白抜き文字だけで示されている。</li> <li>○領土の記述について日本列島の全体図でも写真と解説が計3か所ある。</li> <li>○防災関連のコラムが日本の地方図上に計4か所あり充実している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各地域の地図とともに，地域の特徴が別枠で示されており，国土や産業の学習において地域の特質を学ぶ際に活用がしやすい。</li> <li>○国土や地域の学習では，教科書に掲載されている資料を中心に学習が進められていたが，地図帳を活用することで，社会的事象の見方・考え方に示された「位置や空間的な広がり」から産業や国土の様子を学ぶことにつながってきている。また，日本列島の全体図を用いて，日本の国土の広がりや領土について理解を深めることができている。</li> <li>○防災マップづくりや，防災学習を地震や火山の分布の様子から捉えるページが設定されており，他教科と関連付けた学習につなげやすい。</li> </ul>
講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国土の利用の様子を資料をもとに示しながら，多くのページに写真やイラスト，鳥瞰図など様々な方法で豊富な資料を掲載してその場所や地図に対する興味ももちやすくなっている。領土についても写真で紹介するなど関心をもちやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国土の様子の特徴を示した写真や資料が，その土地で生活する人々のくらしぶりを考える手がかりとなっており，「社会生活の理解」という小学校社会科の特質に迫る学習につながっている。</li> </ul>

### 3 日常的に親しみをもって活用できるような工夫がみられるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人物キャラクターの吹き出しや「チャレンジ」「世界の国をクローズアップ」「トライ」の中に地図を見るときの視点や課題をいろいろな角度から示していて、地図の見方を広げる効果が期待できる。「地図帳の使い方」の中に自主的に索引の使い方や縮尺を利用して実際の距離を調べる方法が記載されている。</li> <li>○索引は、色を3色使い種類の記号を付けてある。統計資料は、補助線をつけ読み取りへ配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の産業等の絵記号が地図上に示されていることでその地域の特徴がつかみやすく、人々の暮らしへの興味・関心を高めることができている。</li> <li>○「地図帳の使い方」には索引を使って地名を探す方法や縮尺を利用して実際の距離を測る方法など、地図の活用方法が具体的に示されており、地図を読み取る基礎的な力の向上に有効である。</li> <li>○教科書の事例と関連付けた地図の活用に課題があったが、新学習指導要領の社会的事象の見方・考え方に「位置や空間的な広がり」が示されたことで、地図に掲載されている視点や課題を効果的に活用する学習展開の実践研究が進められている。</li> </ul>
講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>■人物キャラクターの吹き出しを使ったり様々なコーナーを使って地図を見るときの視点を広げたりしながら、地図の見方を広げる工夫をしている。地図帳の使い方、地図のやくそくを示すことで初めて使う児童でも自分たちで使えるように工夫してあり使いやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域への興味・関心につながる情報や地図の具体的な活用方法等の記載が児童の地図を読み取る力の向上に寄与しており、学習活動での活用につながっている。</li> </ul>

### 4 本文の表記や挿絵・写真・図表・グラフ・その他の資料について、内容が適切であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて色覚の特性への配慮がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○赤色文字の都道府県名・国名などを黒ぶちにするなどカラーバリエーションに配慮している。土地利用を色だけでなく記号で見分けられるようにしている。</li> <li>○太文字、色分け、正しい書体などで見分けやすい文字表記である。ユニバーサルデザインに配慮した書体を使用している。</li> <li>○すべての漢字にふりがなが付けてある。</li> <li>○鳥瞰図を中心とした資料でイメージできるようにしてある。世界の子どもたちの生活の様子を写真で紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○色彩が工夫され文字が読み取りやすく重要な情報が捉えやすい。</li> <li>○地域別の地図に示されている別枠の絵図が教科書の内容とも関連しており、学習内容の理解を深めることにつながっている。</li> <li>○人口規模に応じた記号や、世界自然遺産等の環境に関する記号が地図上に示されており、都道府県の特徴をつかむ学習に生かされている。</li> </ul>
講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>■正しい書体、わかりやすい文字表記などすべての児童への配慮がみられる。すべての漢字に振り仮名を付けるなどの配慮もみられる。鳥瞰図やイラストで理解を深めるとともに、世界の子どもたちの生活の様子を示すなど様々な角度で興味をもちやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地名のふりがな表記やわかりやすい文字表記、配色やレイアウトについて、ユニバーサルデザインの観点において、すべての児童にとって見やすい配慮があり、児童が地図を活用した学習を進める上で重要な情報が捉えやすい。</li> </ul>

5 基本的人権の尊重や道徳的实践力育成の観点から、内容や表現が適切であるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	○道徳教育（自然への親しみ、郷土の文化や生活への親しみ）との関連で、歴史の舞台になった場所が日本地図上に示されたり、おもな伝統工芸品と生産都市が示されたりしている。	○各地の伝統や産業が絵図で示されていることで、他国のくらしや文化を尊重しつつ、それぞれの地域で受け継がれている伝統的な文化を空間的に捉える学習の充実につながっている。
講評	■全国のいろいろな祭りや名所を紹介し、自然への親しみ、郷土の文化や生活への親しみという道徳教育の視点が適切に表されていて活用しやすい。	■各地の自然の様子とともにその土地の産業や歴史についても示されており、各地の特色を生かして暮らしている人々の生活に関心をもつ指導が進められている。

【算数科】教科書の選定にかかる観点別資料 <使用教科書：啓林館>

1 算数科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得を図るための工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解，課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の前に既習内容を振り返ることができるページ「準備」が適切に設定されていて、既習をもとに新たな学習に進むことができるように工夫されている。</li> <li>○巻末で当該学年・前学年で学習した内容を精選し、分かりやすくまとめられているとともに、振り返るための教科書のページが書かれていて確かめやすい。</li> <li>○単元での練習・復習のページが多く、基礎的・基本的な内容を習得しやすい。巻末の「もと練習」の内容も充実している。</li> <li>○単元のねらい、本時のめあてとまとめが分かりやすく示されているため、見直しをもって学習を進めたり、大切な内容を確認したりすることができる。</li> <li>○復習⇒準備⇒単元⇒練習・復習となっており、既習事項を確認してそれをもとに考えられる流れになっている。</li> <li>○半具体物等を用いた作業的・体験的な活動が効果的に取り入れられている。</li> <li>○作図の仕方や道具の使い方が写真を用いて丁寧に説明されていて学習時に活用しやすい。単元中や巻末にスモールステップで線分図や数直線図等のかき方が示されていて分かりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の前後関係が意識できるように、「復習」、「準備」、「練習・復習」が適切に設定されていることから、系統的な指導が意識できている。</li> <li>○単元のねらい、本時のまとめが示されていることで、児童自ら見直しをもって学習し、自らの学びを振り返ることができるようになっている。</li> <li>○作業的・体験的な算数的活動が示唆されていたり、道具の使い方や作図の仕方等が丁寧に説明されたりしていることで、実際の指導に役立てることができ、算数的活動の充実につながっている。</li> </ul>
講評	<p>■既習内容をもとに新たな学習にスムーズにつながるとともに、児童の思考の流れを大切に、既習単元で学んだ考え方を活用して自ら新たな課題や疑問を見出して解決していけるように配慮されているため、児童にとって新たな学習内容を身に付けやすい。また、半具体物等を用いた算数的活動が重視されているため、基礎的・基本的な内容を実感を伴って理解しやすい。</p>	<p>■作図の仕方等が丁寧に説明されていたり、学習の流れが明確に提示されていたりすることで、児童が主体的に学習に取り組むことができている。また、基礎的・基本的な内容の習得を目指した算数的活動の充実が図られている。</p>

## 2 教材や単元の構成・分量・区分・配列が児童の発達段階からみて適切であるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○児童が既習単元で学んだ考え方等を使って自ら新たな課題や疑問を見出し、解決しているように意識されているとともに、児童の思考の流れを大切にした構成である。</p> <p>○文章問題の単元を分けていて、負担が少ない。</p> <p>○言葉の式を大切に、スムーズに立式に結びつけることで、新しい計算の意味を理解できるようにしている。</p> <p>○小単元を設けたり、単元を分けたりして、負担の軽減を図ったり、スパイラルに学習したりできるようにしている。</p> <p>○児童にとって理解が難しい内容を独立・充実した単元として設定することで繰り返し学び、力をつけられるようにしている。</p> <p>○ゲームを取り入れたり、日常生活からの導入を図ったりすることで、興味をもって学習に取り組んだり、算数が生活に使われているよさに気付いたりできるように工夫されている。</p> <p>○巻末の「発見算数島」では、練習・活用問題がまとめられ、充実していて、目的に応じて取り組む内容を選択しやすい。</p> <p>○5・6年生は1冊にまとめられている。年間を通して学習の見直しをもてるようにしているのは、発達段階に適している。</p>	<p>○単元において、下学年では具体物操作や日常生活に深くかかわった問題、上学年では、系統的な図を用いて考えたり、既習内容から新たに算数の問題を見出したりする課題が提示されていたり、発達段階に応じた単元配列になっているため、基礎的・基本的な知識、技能が習得しやすくなっている。</p> <p>○小単元で構成されていることで、単元のまとまりは意識しにくい面もあるが、スモールステップで理解し、スパイラル（何度も繰り返し、学習レベルを上げ理解を深める）に学習することを通してより確かな理解に繋がっている。</p> <p>○児童が苦手意識を持ちやすい文章問題が単元を独立させて設定されていることで児童がじっくりと問題に取り組むことができ、四則計算の定着や新しい思考法の習得につながりやすい。</p>
講評	<p>■児童の発達段階を踏まえた導入を行ったり、操作活動を取り入れたり、単元がスパイラルに構成されていたりするなど、教材や単元の構成・配列が適切に配慮されているため、児童にとって負担が少なく、意欲的に学習に向かいやすい。</p>	<p>■算数科の内容の系統性を大切にしながら、育成すべき資質・能力を段階的に高めていけるように工夫されているため、児童が意欲的に学習できるようになっている。また、意欲が継続するような工夫や学んだことを活用するような構成になっているため、主体的に学ぶことができている。</p>

3 数学的な思考力・表現力を培い、数理的な処理のよさに気付くように適切な配慮と工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「わくわく算数ノート」では、よいノートにするポイントを示すことで、児童がよりよいノートを作っていけることを目指している。</li> <li>○「よみとる算数」では、情報を選択して考えるようにしてあり、PISA型読解力を育成することが意識されている。</li> <li>○単元やその時間のめあてを示し、学習の見通しと目的をもてるようにしている。</li> <li>○思考法を養う文章問題の単元が多く、数学的な思考力・表現力を育てるのに適している。</li> <li>○ことばの式と数直線図や関係図を取り入れ、演算決定の根拠を理解できるようにしている。</li> <li>○巻末の「算数資料集」では、「算数でよく使う考え方」を示している、記述・説明に役立てることができる。</li> <li>○問題作りを意図的に取り入れ、思考力・表現力を育てたり、主体的に働きかけたりできるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい思考法を習得する単元が学年を通じて適宜取り入れられていることで、数学的な思考力・表現力の育成を目指した系統的な授業が展開しやすい。</li> <li>○演算決定の理由をことばの式や数直線図、関係図を用いて説明する活動により、実感を伴った理解が深まり、数学的な表現力の育成にも生かされている。</li> <li>○記述・説明する力の育成に向けて「算数資料集」が活用されており、話し合い活動やノート作成の充実につながっている。</li> <li>○四則計算の定着を図るための問題作りは式の意味理解を深めることにつなげることができ、意欲的に表現しようとする力の育成につながっている。</li> </ul>
講評	<p>■様々な思考法の育成を意図した文章問題の小単元を設けたり、必要な情報を選択して考える学習を取り入れたりとともに、「算数でよく使う考え方」を分かりやすく示しているため、児童の数学的な思考力・表現力を培いやすい。</p>	<p>■数学的な思考力・表現力の育成にあたり、話し合い活動などの自分の考えを表現することに必然性を感じる場面を設定することで、児童が積極的に考えを伝え合うことができるようになってきている。また、考えを伝え合うことが、合理的、論理的に考えを進めたり、互いのコミュニケーションを図ったりするために重要な役割を果たすことを意識することにつながっている。</p>

4 実生活や他教科等との関連を考慮しつつ、身につけた知識や技能を活用する場面を取り入れるなど、思考力・表現力等を伸ばすための適切な配慮と工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びをいかそう」を中心に、他教科や実生活に生かす力を培う教材が多く取り入れられている。主体的に取り組む活動も多い。</li> <li>○単元途中や巻末で「さがしてみよう」「やってみよう」という呼びかけを多く行うことで、実生活に目を向け算数の有用性に気付いたり活用したりする力を育てられるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びをいかそう」には実生活に即した内容や他教科に関連する内容が取り扱われており、児童が興味・関心をもちながら学習に取り組む姿が見られている。</li> <li>○「さがしてみよう」では身の回りのものから既習内容に関連する事象を探し出す活動が設定されており、考えを深めたり、友だちと話し合ったりすることで、単元での学びが深まりやすい。</li> </ul>
講評	<p>■実生活や他教科に生かす場面が多く取り入れられているとともに、実際に探したり行ったりする活動が多く設定されているため、児童が主体的に考えたり、算数の有用性に気付いたり、活用する力を育んだりするのに適している。</p>	<p>■学習した内容を生活場面や他教科等で活用することを通して、算数の価値や算数を学ぶことのよさを実感することにつながっている。</p>

5 学習の動機付け・展開・結果のまとめ方等が分かりやすく、児童の主體的な学習意欲を引き出す工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1時間の学習展開が1ページ、または見開き1ページで示されているため、見通しをもって学習を進めることができる。</li> <li>○一斉問題⇒少し発展させた問題⇒練習問題という構成になっていて、児童が主体的に学習内容を習得するために適しているとともに、個への対応もしやすくなっている。「挑戦」「～の練習」等も明記されている。</li> <li>○単元や1時間のめあてがはっきりと示されているため、学習することに見通しがもてるとともに、主体的に学習する態度を育成することができる。</li> <li>○「教科書の使い方」「学習の進め方」を分かりやすく示したり、「わくわく算数学習」で具体的に学習の流れを体験できるようにしたりすることで、主体的に学習を進められるように工夫されている。</li> <li>○単元ごとに「学習の感想をかきましょう」を設定し、単元の内容をまとめたり、自分の学びを振り返ったりできるようにし、次への意欲をもてるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童にとって、単元や1時間の見通しを持って学習することができるように工夫されている。</li> <li>○既習内容や前時の学習を使って考えることができるように構成されており、問題解決のヒントを使ったりしながら、系統的な学習をすることができている。</li> <li>○2年生以上の教科書に示されている「わくわく算数学習」や「学習の進め方」を活用することで、問題を把握し、自力解決からみんなで学び合い、学びを確かめ、1時間を振り返るといった基本的な学習の流れの習得につなげることができている。</li> </ul>
講評	<p>■1時間の学習展開を1ページで示すことを基本とするとともに、単元や1時間のめあてを示したり、学習の進め方や結果のまとめ方を示したりするなどの配慮がなされているため、児童にとって学習することや学習の進め方の見通しをもちやすく、意欲的・主体的に学習に取り組みやすい。</p>	<p>■めあての提示、学習の進め方やまとめ方の提示を通じて、児童が理解し、自ら取り組むことで、意欲的、主体的な学びを実現することにつながっている。</p>

6 本文の表記や挿絵・写真・図表・グラフ・その他の資料について、内容が適切であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて色覚の特性への配慮がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文字や図、色等のバランスがよく、見やすく作られている。文字の大きさも適切である。</li> <li>○問題やまとめが囲まれていて、分かりやすい。</li> <li>○図形のかき方や道具の使い方等の写真が大きく、具体的なイメージをもちやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○具体的操作等の写真や絵は、イメージを持ちやすくするだけでなく、掲示物として指導の際に活用することができている。</li> <li>○挿絵や図表等については、児童が思考を深める手がかりとしても役立てることができている。</li> </ul>
講評	<p>■図形のかき方や道具の使い方等を学習する際に、効果的に写真が用いられているため、児童にとってとても分かりやすく、基礎的・基本的な技能を身に付けやすい。また、文字や図等の大きさやバランスがよい紙面構成がなされているため、児童にとって見やすく分かりやすい。</p>	<p>■関連した図や写真の提示、工夫された構成により、支援を要する児童だけでなく、すべての児童にとって確かな学力の定着を図るための支援として生かすことができている。</p>

7 数学的な思考力・表現力を育成するため、自分の考えを分かりやすく説明したり、論理的に表現し伝え合ったりする学習活動が適切に取り上げられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「わかりやすく説明しよう」では、説明で使う言葉や話型も示し、論理的に説明する力の育成を目指している。</li> <li>○解決に至る過程や考え方を説明する活動、根拠について話し合う活動が系統的に扱われている。</li> <li>○「算数実験室」で、学んだことを活用し、筋道立てて考えて実験したり、結果を話し合ったりすることで思考力・表現力を育成することを目指している。</li> <li>○「わくわく算数学習」では、コミュニケーション力を育成することが重視されている。算数科の授業の進め方を示し、数学的な考え方のよさを活かして話し合っ深めていく内容も取り入れられている。</li> <li>○「学習の感想」を求め、例を挙げて児童に生かせるようにするとともに、それを伝え合えるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを分かりやすく説明したり、論理的に表現し伝え合ったりする活動を意図的に取り入れた学習場面が設けられ、具体的な表現方法が記述されていることから、読んで学んだり、言い方を真似たりと言語活動の充実が生かされている。</li> <li>○単元において、適宜、数学的な思考力・表現力を育成するための活動が盛り込まれていることで、継続的な指導を行うことができている。</li> <li>○自分の学習を振り返り、今後の学習に生かせるような学びを表出させることで、表現力の育成につながってきている。</li> </ul>
講評	<p>■解決に至る過程や考え方を説明する活動、根拠を話し合う活動が系統的に扱われているため、児童にとって説明する力を身に付けやすい。また、話し合っ深めていく学習の進め方とそのよさが分かりやすく示されているため、児童にとって目指す算数科授業の姿をイメージしやすく、コミュニケーション力も高めやすい。</p>	<p>■児童自らが行うことができるようになる学習の進め方が提示されていることで、新学習指導要領における数学的活動の「数学的に表現し伝え合う活動」に生かされている。</p>

8 他教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がみられ、児童の追究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるような内容が取り入れられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「よみとる算数」の内容は、他教科等を意識して取り上げられている。</li> <li>○高学年ではキャリア教育（算数から仕事へ）を扱ったページが設定されている。</li> <li>○環境教育を扱うページが多く設定されている。</li> <li>○6年生で防災関連の内容を取り入れている。</li> <li>○伝統・日本・京都に関わる内容を多く取り入れている。</li> <li>○全学年で発展の内容を取り入れている。</li> <li>○「みらいへのつばさ」では、1日の生活を見直したり、話し合ったりする場面を設定し、算数で学んだ力を生かして、生活をよりよくするために調べたりまとめたりできる力を育てることを目指している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実際に習得した基礎的・基本的な知識・技能を活用する場面が設定されていることで、児童が数学のよさに触れ、学んだことを生かそうとする意欲の向上につながっている。</li> <li>○「みらいへのつばさ」では、他教科や社会生活との関連性を意識して問いかけられているため、数学的な見方・考え方が算数の学習の中だけで働かせるのではなく、将来の自分の生き方やよりよい社会を作り出していくことに生かせることを児童が意識できるようになってきている。</li> </ul>
講評	<p>■キャリア教育や環境問題、伝統・日本・京都に関連する内容が取り上げられているため、児童にとって興味・関心が高まるとともに、自ら算数科を学ぶ意欲をもちやすい。</p>	<p>■児童が興味関心を持ちやすい場面において、学習した内容を活用することで、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成につながっている。</p>

9 基本的人権の尊重や道徳的実践力育成の観点から、内容や表現が適切であるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	○「学習の進め方」では、他者の考えを尊重し、協働してよりよい考えを追究していこうとしていることが伝わってくる。	○自分で考えたことをもとにして、みんなで話し合えるような「学習の進め方」が例示されており、友だちに分かりやすく、友だちのよさを見つけながら問題解決することが児童にも指導者にも意識されてきた。
講評	■他者の考えを尊重し、協働してよりよい考えを追究していこうとする配慮がなされているため、児童の他者を尊重して思いやる心や、支え合い高め合う集団作りをしていこうという姿勢を育みやすい。	■算数科の問題解決において、友だちと考えを伝え合うことで学び合ったり、よりよい解法を見い出したりするための意見の交流や議論など対話的な学びを取り入れることにつながっている。

【理科】教科書の選定にかかる観点別資料 <使用教科書：大日本図書>

1 理科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得を図るための工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に「理科の学び方」が設けられていて、学年ごとに学び方の基本が示されている。</li> <li>○見つけた問題を実験や観察を通して、分かったことをまとめる学び方が一貫している。</li> <li>○本文の記載には、基礎的・基本的な内容が的確に説明されており、大切な用語を太字で記すなどの工夫がされている。</li> <li>○各学年の目次では、単元ごとに4領域の色分けにより、表記されている。</li> <li>○わかったことのマークが設けられ、基礎的・基本的な内容は的確に押さえられている。</li> <li>○単元末に「ふりかえろう」が設けられて、用語など基本事項を書き込んで、基礎的・基本的な内容の定着が図れるように工夫されている。</li> <li>○ものづくりなどの科学的な体験内容を数多く単元末に取り扱っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大切な用語が太字で記されていたり、学習のポイントとなる内容はマークが付されていたりするなどの工夫により、単元で定着が必要な基礎的・基本的な内容の習得が図りやすい。</li> <li>○巻頭の「理科の学び方」で学び方の手順が見開きでわかりやすく示されていたり、単元内が問題解決の過程で構成されていたりすることで、児童が見通しをもって学習を進めることができている。</li> <li>○「ものづくり」の例が多く掲載されており、学習したことを活かしたものづくりを行うことで、学習内容を深く理解できるようになるとともに、児童が理科の有用性を実感しやすい。また、ものづくりが活動で終わってしまわないよう、その意図や付けたい力を明確にした指導となるよう、さらなる授業改善が進められている。</li> </ul>
講評	<p>■学年ごとに学び方の基本が示されていて、見つけた問題を実験や観察を通して、分かったことをまとめる学び方が一貫して掲載されている。また、基礎的・基本的な内容が的確に説明されており、大切な用語を太字で記すなどの工夫がされている。さらに、ものづくりなどの科学的な体験活動を数多く単元末に取り扱っているため、理科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容が習得しやすい。</p>	<p>■問題解決の過程が重視されており、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができている。基礎的・基本的な内容の習得が図りやすい。</p>

2 内容や表現において、安全や環境への配慮がなされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○注意すべき箇所は赤いマークで示し、注意の内容が具体的に赤字で示されている。</li> <li>○生き物と環境の関係など、環境に関わる内容が数多く記載され、独自のマークをつけて見やすくしている。</li> <li>○薬品の扱い方と実験の注意が学年に応じて記載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験する上での注意点が赤字ではっきりと記されていることや、薬品の扱い方と実験の注意が学年に応じて記載されていることにより、安全に配慮した指導がしやすく、児童自身も安全を意識して観察・実験を行うことができている。</li> <li>○環境やエネルギーに関するマークが明記されており、他教科と関連付けた学習につなげやすい。</li> </ul>
講評	<p>■注意すべき箇所は、明確な表示があり、注意の内容が具体的に分かりやすく示されていて、安全に対する配慮が十分になされている。また、生き物と環境の関係など、環境に関わる内容が数多く記載され、分かり易く見やすく示されている。さらに、薬品の扱い方と実験の注意が学年に応じて記載されているため、安全や環境に対する意識を高めやすい。</p>	<p>■観察・実験をする上での注意点については各社とも記載されているが、本書においては、安全に関する表記が明確であり、児童の安全への意識を高めることにつながっている。</p>

3 自然の事物・現象の性質や働き・規則性などが実感でき、思考力・判断力・表現力等の育成を意図した言語活動を促して科学的な見方や考え方を自らが構築できるように工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元末の「たしかめよう」で科学的な概念の定着を図る学習内容を設定している。</li> <li>○「予想しよう」「話し合おう」など、言語活動を行う具体的な場を明示して、学習問題から結論までの流れがきっちり作られている。</li> <li>○科学的な知識や概念を活用した話し合い活動や学習したことを活かしたものづくりを設定している。</li> <li>○理科の学習の進め方を記載したり、研究の進め方やその例を取り上げたりして、自主的に学習に取り組めるように配慮している。</li> <li>○4ページにわたり自由研究の進め方が説明されている。</li> <li>○実験結果を表やグラフにまとめる方法を児童のノート例として分かりやすく示してある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「予想しよう」「話し合おう」など、言語活動を意識した場面が教科書に明記されていること、また、児童の話し合いの様子を具体的にイメージしたイラストも多く掲載されており、言語活動を重視した授業を行いやすい。</li> <li>○一方、言語活動を充実させることが目的化してしまい、観察や実験などの体験活動が軽視されすぎないように、「体験活動」と「言語活動」のバランスを考えた単元構想が進められている。</li> </ul>
講評	<p>■科学的な概念の定着を図る学習内容を設定している。また、言語活動を行う具体的な場を明示して、学習問題から結論までの流れがきっちり作られている。さらに、科学的な知識や概念を活用した話し合い活動や学習したことを活かしたものづくりを設定している。そして、理科の学習の進め方を記載したり、研究の進め方やその例を取り上げたりして、自主的に学習に取り組めるように配慮されていたり、実験結果を表やグラフにまとめる方法を児童のノート例として分かりやすく示されていたりしているため、言語活動を促した科学的なものの見方や考え方が身に付きやすい。</p>	<p>■言語活動を行う場面が具体的に示されていることで、授業においても、検証方法を考えたり、観察・実験の結果を基に話し合ったりすることを意識的に行うようになってきており、児童の科学的な見方や考え方の習得につながっている。</p>

4 本文の表記や挿絵・写真・図表・グラフ・その他の資料について、内容が適切であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて色覚の特性への配慮がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○紙面はワイド判で写真や図等が大きく掲載され、効果的に配置されている。</p> <p>○図や写真が鮮明で、イラストなども明るい色調で表現されている。</p> <p>○児童にとって身近な地域の写真を何点か使用している。</p> <p>○色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの人に使いやすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られている。</p> <p>○文章は児童に分かり易く表現されており、写真や図等をバランスよく記載し、理解しやすいように配慮している。</p>	<p>○写真やイラストは明るい色調で、レイアウトもバランス良く、見やすい紙面であり、児童にとって使いやすい。また、実験等での注意事項の表記の色使いが児童の注目を集めやすく、授業においても徹底が図りやすい。</p> <p>○京都市内の施設等の写真が掲載されているページもあり、学習内容が児童にとっても身近なこととして感じられ、学習への興味・関心につながりやすい。</p>
講評	<p>■紙面はワイド判で写真や図等が大きく掲載され、効果的に配置されている。また、図や写真が鮮明で、イラストなども明るい色調で表現されている。さらに、児童にとって身近な地域の写真を何点か使用されており、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの人に使いやすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られている。そして、文章は児童に分かり易く表現されており、写真や図等をバランスよく記載し、理解しやすいように配慮されているので、いろいろな課題のある児童にとっても使いやすい。</p>	<p>■児童の興味・関心を喚起する資料や写真の提示やレイアウトの工夫等がなされており、すべての児童にとって教材の理解を深めるための支援になっている。</p>

5 観察や実験などの具体的な体験を通して自然の事物・現象を調べ、意欲的に追究できるような工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○マークを使って観察・実験の方法や進め方を分かりやすく表現してある。</p> <p>○学習問題を設定し、観察・実験の進め方を具体的に示し、観察・実験が見通しを持って意欲的に追究できるように配慮している。</p> <p>○観察カードの記録の仕方や整理の仕方が明記されている。</p> <p>○写真を有効に用い、日常生活に即した観察や実験が多く、内容も具体的で意欲を高める工夫がある。</p>	<p>○学習問題に対して検証方法を選択したり、条件を整理して構想したりする場面が設定してあるなど、問題を解決する過程も丁寧に示されているため、児童も見通しを持って学習することができ、意欲的に観察・実験に取り組むことができている。</p> <p>○日常生活に関わりのある事柄を追究していく構成や、身近な材料を使ってできる実験の紹介などにより、児童が自ら進んで問題解決に向かえるような工夫がみられる。</p>
講評	<p>■観察・実験の方法や進め方を分かりやすく表現してある。また、学習問題を設定し、観察・実験の進め方を具体的に示し、観察・実験が見通しを持って意欲的に追究できるように配慮している。さらに、観察カードの記録の仕方や整理の仕方が明記されている。そして、写真を有効に用い、日常生活に即した観察や実験が多く、内容も具体的で意欲を高める工夫があるので、児童が意欲的に学習を進めやすい。</p>	<p>○学習問題の設定場面や学習問題を解決する場面において、適切な観察や実験が具体的に示されており、見通しをもって意欲的に追究することができている。また、「別の方法」や「別の教材」などの紹介も充実しており、学校や児童の実態に合わせた指導ができるように配慮されている。</p>

6 自然の事物・現象の直接体験による問題意識を基に見通しをもって児童自らの課題を追究する中で、問題解決の能力が獲得できるような構成や内容の工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動を通して見つけた学習問題を解決するために、観察・実験を通して、わかったことをまとめる構成や内容になっている。</li> <li>○「～しよう」という表現で活動を促している。</li> <li>○予想や考察などで既習事項を基にした言語活動を意識している。また、「話し合おう」で話し合うヒントを示し、言語活動を取り入れようとしている。</li> <li>○カードやノートの例が数多く掲載されているので、表現力を高めるのに有効に働く。</li> <li>○実験結果を表やグラフにまとめる方法を児童のノート例として分かりやすく示してある。</li> <li>○4ページにわたり自由研究の進め方が説明されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の中に、問題の設定から予想、観察・実験、結果、考察、結論といった問題解決の過程が分かりやすく示されており、児童は見通しをもって活動に取り組むことができる。</li> <li>○教科書に掲載されている問題解決の学習過程に加え、関連する実生活の事象を提示するなど工夫により、児童の興味・関心を高めることにつなげやすい。</li> <li>○カードやノートの例、話し合い場面のイラストが多く掲載されており、言語活動を意識して指導につなげやすい。</li> </ul>
講評	<p>■活動を通して見つけた学習問題を解決するために、観察・実験を通して、わかったことをまとめる構成や内容になっている。また、予想や考察などで既習事項を基にした言語活動を意識し、「話し合おう」で話し合うヒントを示し、言語活動を取り入れようとしている。さらに、カードやノートの例が数多く掲載されていて表現力を高めるのに有効に働く。そして、自由研究の進め方がくわしく説明されているので、児童の問題解決の能力が育ちやすい。</p>	<p>■活動を通じた気付きや疑問を基に学習問題を設定し、問題解決の過程に沿った授業を展開することで、児童が理科の見方・考え方を働かせながら主体的に学習を進め、問題解決の能力を育成するような授業が展開しやすい。</p>

7 他教科，道徳，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動，また，環境教育，情報教育，生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がみられ，児童の追究意欲を高める工夫や，学んだことを活用して，さらに発展的な学習につながるような内容が取り入れられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解，課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○科学的な知識や概念を活用して考える学習内容や学習したことを活かしたものづくりを設定している。</li> <li>○自由研究については進め方が順を追って詳しく書かれており，科学館の活用も積極的に示されている。</li> <li>○マークごとに一目でわかる文字が入っているので，観点が分かり易い。</li> <li>○発展的な内容を資料や読み物を中心として単元全体に配置している。</li> <li>○資料が充実しており，補足や発展的な内容のほか，生活との関連，歴史などの読み物を通して興味を深めることができる。</li> <li>○他教科，実生活や社会との関連を説明する資料が充実している。</li> <li>○読み物資料を豊富に掲載して，自然保護や環境教育に関連する内容の充実を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容と実生活との関わり，読み物資料，ものづくりの学習等が充実しており，また，理科の学びが自分たちの生活や生き方に深く関わっていることを感じられ，理科を学ぶ意義や理科の有用性を実感として理解できている。</li> <li>○自然保護や環境に関連する内容の資料も充実しており，環境教育・ESDの観点からも指導を充実させることができている。</li> <li>○学習内容と関連した自然災害についての資料も扱っており，身近でも起こり得る自然災害や，災害を最小限にとどめる工夫について理解することができている。このことが，児童の防災意識を高めることにもつながっている。</li> <li>○「自由研究」や科学館の活用などの記載が児童がさらに学習活動を深めるための手立てとなっている。</li> </ul>
講評	<p>■科学的な知識や概念を活用して考える学習内容や学習したことを活かしたものづくりを設定している。また，自由研究については進め方が順を追って詳しく書かれており，科学館の活用も積極的に示されている。さらに，発展的な内容を資料や読み物を中心として単元全体に配置している。そして，資料が充実しており，補足や発展的な内容のほか，生活との関連，歴史などの読み物を通して興味を深めることができる。また，他教科，実生活や社会との関連を説明する資料が数多く掲載されていて，読み物資料が豊富で，自然保護や環境教育に関連する内容の充実を図っているため，児童の学習意欲を高め，学んだことを活用して，さらに発展的な学習につながりやすい。</p>	<p>■学習内容と身の回りの事象，自然災害，実生活の中での物事との関わりが読み物資料などで掲載されており，理科を学ぶ意義や理科の有用性を感じられるだけでなく，児童の追究意欲や防災意識を高めることにもつながっている。また，学習内容に関わる発明・発見をした科学者の話や社会に貢献した人々の資料もあり，キャリア教育の視点からも指導することができる。</p>

8 基本的人権の尊重や道徳的実践力育成の観点から，内容や表現が適切であるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解，課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男女仲良く学習している様子から協力のイメージをとらえやすくしている。</li> <li>○道徳教育と関わって自然の素晴らしさを感じさせる写真を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地球に生きる生命の大切さやつながりを学ぶことができる資料もあり，人と自然との関わり，人と人との関わりなどについても考えを深め，道徳的な実践力の育成につなげることができている。</li> </ul>
講評	<p>■男女仲良く学習している様子から協力のイメージをとらえやすくしている。また，道徳教育と関わって自然の素晴らしさを感じさせる写真を掲載しているため，基本的人権感覚や道徳的な実践力が育ちやすい。</p>	<p>■道徳教育と関わって，自然の素晴らしさや生命の神秘を感じられる資料も掲載されており，生命の尊さ，環境保全の大切さなどについて，児童が自ら考えられるようになっている。</p>

【生活科】教科書の選定にかかる観点別資料 <使用教科書：光村図書>

1 生活科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得を図るための工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○子どもの思いや願い・思考を大事にした単元構想になるよう工夫している。</p> <p>○単元が活動でまとまっており、単元の流れを「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成されている。「ジャンプ」では、伝え合いの活動となり、発展していくような単元構成となっている。</p> <p>○児童の思いが膨らんで次の活動に展開していくような工夫がある。</p>	<p>○児童の意欲を喚起する単元名や導入の設定、吹き出しで記されている言葉、写真等が児童の思考の流れに沿った内容であり、意欲的な学習につなげることができている。</p> <p>○「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成されていることで、児童の思いや願いを大切にしながら、体験活動に取り組むことができている。また、「ジャンプ」のページでは体験活動を通して得られた気付きを伝え合う活動が設定されており、一人一人の気付きの質を高めることにつながっている。</p> <p>○「ジャンプ」では、伝え合いの具体的な姿が写真で明確に伝わってこない部分も単元によってはあるが、それぞれのページのリード文を確認することで、児童の思いや願いを引き出せている。</p>
講評	<p>■目標を達成するために、児童の思いや願いを大切に、児童の膨らんだ思いから活動に入っている。大きな単元のくくりとして構成され、「ホップ・ステップ・ジャンプ」という活動の段階で示されており、年間を通してさらに思考が促されるような単元の構成がされている。</p>	<p>■児童の意欲を喚起する工夫がされており、児童の思いや願い・思考を大切に学習活動に取り組むことができている。</p>

2 生活上必要な習慣や技能を育てることなどが適切に配慮され、また、昔あそびや地域の伝統行事等を通じて、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることを気付かせるよう工夫されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○必要な習慣や技能活動の中で無理なく身につけられるように、児童がその場に応じて自分で考えられる手立てとして「～かな」「どうしたらいいだろう」「～してみよう」と表現する等の工夫や、同じ場面で一年間の移り変わりを示すなど、四季の変化やそれに伴う人々の生活がとらえやすいよう工夫がなされている。</p> <p>○挨拶の仕方・気を付けることマークなどもわかりやすい。</p> <p>○巻末に「きせつのおくりもの」として四季の変化が分かるように、同じ場面にそれぞれの季節に合った絵を描いているページがあり、比較できるようになっており、内容(5)の季節の変化と生活を上巻は生き物、下巻は町からとらえることができる。</p>	<p>○「～かな」「どうしたらいいだろう」「～してみよう」などと活動や思考を促す表現がされており、児童が挨拶など生活上の習慣や技能を身に付けるきっかけとなっている。</p> <p>○下巻末にある「きせつのおくりもの」は季節ごとに人々の暮らしや街の様子が変化することを樹木の変化やこいのぼり・餅つきなどの行事等から読み取ることができ、実際の体験と結び付けて考えることで気付きを引き出すことができている。</p>
講評	<p>■児童がその場に応じて自分で考えられる手立てとして「～かな」「どうしたらいいだろう」「～してみよう」と表現する等の工夫があり、必要な習慣や技能が活動の中で無理なく身につけられる。また同じ場面で一年間の移り変わりを示すことで、四季の変化やそれに伴う人々の生活がとらえやすい。</p>	<p>■「～かな」「どうしたらいいだろう」「～してみよう」などと、実際の体験や思考を促す工夫がされていることが指導上有効である。生活上必要な習慣や技能を身に付けることを目指した活動や思考を促す学習活動に取り組むことができている。</p>

3 言葉や絵で表す表現活動や、伝え合い交流する活動の充実を図ることができるよう配慮されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解，課題等
特徴	<p>○活動の中に様々な表現活動が位置づけられており，ペア・グループ・クラスなど様々な単位での交流が示されている。</p> <p>○写真に添えた吹き出しに，何も書いていないものがあり，自分で言葉を選べる工夫がある。</p> <p>○表現活動の内容が，報告，考え合うなど必然性が感じられる。</p> <p>○カードには朱書きがあり，児童・教師の表現の手助けとなる。</p>	<p>○写真に添えられている空欄の吹き出しを活用することで，多様な思いや考えを引き出すことができ，またそのことがより良い伝え合いにつながっている。</p> <p>○感じたことを友だちと交流し，意見交換をして解決していく活動事例を参考にし，児童の思考の流れに沿った交流活動に取り組んでいる。</p>
講評	<p>■「ジャンプ」の活動が「伝えよう」として全単元に位置付けられ，気付きの質が高まるように設定しているので，伝え合い交流する活動が充実する。発表会や報告会という大きなイベントだけでなく，ペアやグループでの伝え合う姿や吹き出しなど，必然性がある様々な表現活動が示されており，児童が意欲を持って取り組みたいと考えるようになる。</p>	<p>■表現活動や交流などの具体的な伝え合いの場面が設定されていることで，児童が自分の思いを表現し，気付きの質を高めることができている。また，何も書いていない吹き出しによって，伝え合う活動が促進されるなど多様な思いや考えを引き出すことができている。</p>

4 自分と身近な人々，社会及び動物や植物などの自然とのかかわりが深められるように単元が配列され，自然の不思議さ・面白さを実感し，安全・生命尊重・就学前の体験との接続の観点について配慮されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解，課題等
特徴	<p>○スタートカリキュラムとして活用できるよう文字情報の少ない6ページに設定しており，学校への不安を減少するとともに，教師の意識づけにもなる。</p> <p>○絵と写真を組み合わせて自然や生き物の不思議さや面白さが浮き彫りになっており，部分のアップや子どもの表情から実物を見たい意欲をかき立てている。</p> <p>○「ホップ」（導入）のページに，対象となる自然のものをアップにし，分かりやすい形で表すとともに「ふしぎびっくり大はっけん」として示されていて児童の興味・関心を高めている。</p>	<p>○上巻の4月当初に歌や遊びなどが配置されており，スタートカリキュラムの視点を踏まえた，効果的な指導につながっている。</p> <p>○児童の自発的な気付きを引き出すような写真が多く，身近な自然や生き物の面白さや不思議さに着目できている。</p>
講評	<p>■児童の意欲を喚起する単元名や導入のあり方，効果的で大胆な写真の使い方になっており，洗練された吹き出しが，自然や生き物の不思議さ，面白さを浮き彫りにし，気付きの質が高まるとともに，思考がさらに促進されるように工夫している。</p>	<p>■スタートカリキュラムを意識したページをはじめ，児童の意識や発達段階を踏まえた配慮が効果的で児童の自発的な気付きや思いを引き出し，気付きの質の高まりや思考の促進につながっている。</p>

5 本文の表記や挿絵・写真・図表・グラフ・その他の資料について、内容が適切であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて色覚の特性への配慮がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○色づかいに配慮があり、見やすい。</li> <li>○子どもの興味・関心を引き出す写真やことばが配列されおり、絵や写真の数を精選したり、大きさやバランスを考えて配置したりし、情報量を調整している。内容も効果的で大胆なものや、児童の生き生きした表情の物があ、活動の楽しさやワクワク感を表現している。</li> <li>○不必要な吹き出しがなく、吹き出しが一つ一つ整理され効果的である。</li> <li>○想像力を膨らませる表現が各所にされている。実際の子どもたちの活動する写真で示されているのでわかりやすく利用しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○詳細な説明が省かれており、児童の知識を広げる情報は精選されているが、体験の中で知識及び技能を習得できるよう適宜補足しながら指導を行うことで、体験から学び得た、生きて働く知識を児童が得ることができ、気付きの質を高めることができています。</li> <li>○児童の活動の様子を示した写真が多数用いられ、また、見やすいよう配色やレイアウトが工夫されていることから、児童がめあてをもって活動できている。</li> </ul>
講評	<p>■効果的で大胆な写真・大きさやバランスが絶妙な配置であり、誰もが落ち着いてじっくり見ることができ、ワクワク感が湧きでてくる。吹き出しなどに空欄が示してあり、学習活動を選ぶだけでなく、児童が立ち止まって自分で考えることができるようになっている。</p>	<p>■児童が思わず目を引く写真や言葉などが工夫して配列されており、どんな活動をするのかを児童も把握しやすく、意欲的に活動に取り組むことができています。</p>

6 他教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がみられ、児童の追究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるような内容が取り入れられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他教科につながるヒントがさりばめられている。特に国語のことば、理科の科学的興味につながるような表現や、写真などが至る所にある。</li> <li>○必要な部分だけをトリミングしたりアップにしたりした写真や絵を使うことで、児童が次の活動を自分で考え出せるようにしている。</li> <li>○学習活動の選択ができるように促している4コマのうちの1コマを「？」にすることで、自ら活動を考え出す意欲が高まる。</li> <li>○吹き出しのなどの文章がなく、あえて言葉で示さず、活動を児童が想像し、発展できるように工夫している。</li> <li>○「きせつのおくりもの」はる・なつ・あき・ふゆのページに子どもの意欲を高める表現が数多くある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他教科の内容や資質・能力、特に国語科の言語活動を意識した表現や理科の科学的興味につながるような表現や写真などが随所に見られ、他教科との関連を意識して指導できている。</li> <li>○「どうすればいいかな」というコーナーでは、3つの活動例と「？」のスペースが設定されていたり、吹き出しを空欄にしたりするなど、児童が自ら活動を想像し発展させることができるように工夫されている。これらにより児童が自分の思いを明らかにし、活動を考え出すことができています。</li> <li>○単元の最後の「ジャンプ」においては児童が学んだことを表現しながら、これまでの学びを再確認したり、課題を発見したりすることができており、その後の学習や生活に生かすことにつながっている。</li> </ul>
講評	<p>■国語をはじめ、理科の科学的思考につながる表現や写真がたくさんあり、写真の中にある教師の子どもへのかかわりの姿や、子どものカードへの朱書きが児童の思考・表現を高めている。さらに、あえて吹き出しなど言葉で示さない表現も位置づけることで児童自身が想像し、発展できるように工夫している。</p>	<p>■他教科との関連を意識した内容の工夫や、児童の思いや願いを引き出し、これまでの学びを生かせるように工夫されていることなどが、身近な生活に関わる見方・考え方や気付きの質を高め、実生活を豊かにしようとする意欲につながっている。</p>

7 基本的人権の尊重や道徳的实践力育成の観点から、内容や表現が適切であるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	○クラスに車いすの児童を位置づけるとともに、外国人の教師や町に暮らす障害者など自然な感じで配置している。	○障害のある児童や外国人の教師など多様な人々の存在や関わりに気付くことで、児童が自身の行動について考えるきっかけとなっている。
講評	■クラスに外国の児童や車いすの児童を位置づけたり、生きものを飼う学習の際に、学習後のことを考える場面を位置づけられたりしているので、人権や命に対する認識が高まる。	■学習を通して多様な人々との関わりに気づくことで、児童の人権意識の高揚を図ることができている。また、複数回設定されている生きものの飼育や栽培活動により生命の尊さを実感することにつながっている。

【音楽科】教科書の選定にかかる観点別資料 <使用教科書：教育芸術社>

1 音楽科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得を図るための工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○直接楽曲の頁には〔共通事項〕の文言が表われていないが、学習活動の中にわかりやすい文言で書かれており、音楽活動を通して共通事項を学ぶことができる。</p> <p>○表現領域において拍を意識した題材が多い。拍は音楽学習の根幹であり、これを意識することで、リズムの違いや速度の違いなど、基礎的・基本的なことが捉えやすくなる。</p> <p>○2年生で、身体活動を通して2拍子と3拍子の違いを感じ取れるようにしており、聴くだけでは拍子の聴き分けができてにくい児童も感じ取りやすくなるという効果が得られる。</p> <p>○キャラクターの吹き出しを使って、大切にしたいことが書かれているため、児童が活動するときのヒントになる。</p> <p>○2年生で音符や休符、3年生でト音記号を書く欄があり、学習する楽曲の中で新出の記号・音符を覚えることができる。</p> <p>○楽器の奏法が学習する楽曲に合わせて一つずつ出てくるので、扱いやすく、奏法などが徹底されやすい。</p> <p>○リコーダー導入時の曲の息の使い方やサミングの仕方が図で説明してあり、わかりやすい。</p>	<p>○活動をする上で大切にしたいことがキャラクターの吹き出しにより掲載されているとともに、〔共通事項〕がわかりやすく示されており、基礎的・基本的な内容の習得につながることができている。</p> <p>○学習する楽曲とともに、新出の記号・音符や楽器の奏法を学ぶことができるため、児童の深い理解につながっている。</p> <p>○拍の違いを感じるために身体活動が提案されていたり、リコーダーの吹き方指導が図を用いて丁寧に表記されていたりするため、音楽表現のために必要な基礎的な技能の習得に有効である。</p>
講評	<p>■〔共通事項〕について、題材名や学習目標に示すとともに、学習活動文の中に明記し、どのような活動をすればよいのか分かるようにしてある。また、旋律線や図などを提示することによって、〔共通事項〕について具体的に理解できるようにしている。このため、児童は、実際の音楽活動を通して学ぶことができる。楽器の奏法や歌い方が詳しく書かれているため、技能が身につけやすい。</p>	<p>■題材及び教材で何を学習すればよいのかが簡潔に示されており、音楽活動を通して、思いや意図に合った表現及び鑑賞をするための知識や技能を得ることができ、音楽科における資質・能力の育成に向けた授業を構築することができている。</p>

2 教育的・芸術的に価値ある魅力的な楽曲が、適切な分量で教材として取り上げられ、音楽のよさや美しさに触れ、豊かな情操を養うことができるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○巻末の「みんなで楽しく」に児童たちの生活や心情に合った歌唱曲が載っており、ねらいに合わせて差し替えたり発展的に扱ったりする事はもちろん、音楽の時間だけでなく、他教科や生活の中に生かすことができる。</p> <p>○特に歌唱曲において、児童たちの心情に合った曲が多く扱われており、豊かな情操を培うのに適している。</p>	<p>○鑑賞曲においては、題材のねらいに沿った音楽の構造が分かりやすいものが多く、また、発達段階に応じた楽曲が取り上げられており、効果的な指導ができている。</p> <p>○歌唱曲が児童の心に寄り添う内容であり、歌詞の表す気持ちを想像しながら歌いやすく、児童の豊かな情操を育むことにつながりやすい。</p>
講評	<p>■児童の生活や心情に合った歌唱曲が多く掲載されており、児童が意欲的に活動に取り組んだり、豊かな情操を育んだりしやすい。他教科や学校行事等で生かすこともしやすい。</p>	<p>■児童の生活や心情に合った歌唱曲が多く掲載されており、また、世代を超えて共有することができる教材もあることから、音楽を生かした学校行事や教育活動の充実につなげることができている。</p>

3 [共通事項]を要として複数の領域・分野の関連を図り、効果的に学習活動が展開できるよう工夫されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1つの題材に貫かれている[共通事項]が明確で焦点を絞って設定されている。題材を通してその[共通事項]を支えに学ぶことで、付けたい力を確実に付けることにつながる。</li> <li>○目次の部分に活動内容が書かれていてわかりやすい。</li> <li>○題材名がわかりやすく、活動のイメージがしやすい。また、各題材の中に歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の活動がバランスよく入っており、一貫しためあてを基にして学習が進められるようになっているなど、各領域の関連も図られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○題材に貫かれている[共通事項]が明確であるため、指導のねらいや手立てを立てやすく、児童が感性を高め、思考・判断し、表現できる授業が進めやすい。</li> <li>○題材を軸にバランスよく配列された表現領域と鑑賞領域の教材を効果的に活用し、音楽的な見方・考え方を働かせた授業を進めることで、児童の興味・関心を高めることができています。</li> </ul>
講評	<p>■1つの題材に貫かれている[共通事項]が明確で焦点を絞って設定されているため、付けたい力を確実につけやすい。また、各題材の中に表現領域・鑑賞領域のいろいろな活動があり、それぞれ関連を図りながら学習を深められるようになっている。</p>	<p>■表現領域と鑑賞領域の双方において[共通事項]が明確に示されていることで、6年間の題材の系統性を踏まえた学習活動が展開できている。また、この[共通事項]は中学校の学習においても共通する内容も含まれていることから、小中の学びの連続性を意識した学習につなげることができている。</p>

4 6年間を通して、系統的な学習が進められ、習得したことを活用でき、弾力的な運用が可能な構成になっているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6年間積み上げることで確実に力が付けられるようになっている。</li> <li>○音楽づくりや歌唱の活動は、1年生から順に系統的・段階的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○「みんなで楽しく」の楽曲をねらいに合わせて差し替えたり発展的に扱ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年の横で見る題材配列、6年間の縦で見る題材配列が工夫されており、各学年で積み上げられた学習を、学習の高まりが次の学年でさらに見られるように系統的・段階的な学習が進められるようになっている。</li> <li>○第1学年の4月当初の題材は、生活科との合科的・関連的な指導の充実に十分な題材となっており、スタートカリキュラムの視点を踏まえた効果的な指導につながっている。</li> </ul>
講評	<p>■低学年から系統的・段階的に学習ができるように配慮されており、習得したことを活用しやすくなっている。</p>	<p>■題材配列の工夫により、知識・技能の確実な定着が図りやすく、習得したことを基に思考を深め、児童に活用する力を身に付ける指導につなげることができている。</p>

5 本文の表記や挿絵・写真・図表・グラフ・その他の資料について、内容が適切であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて色覚の特性への配慮がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目次に、題材名とその題材で身に付けさせたい力が呼びかけるように表記されており、児童が見通しをもって学習することができる。</li> <li>○鑑賞教材の主な旋律の図形楽譜（旋律線）が分かりやすい。演奏の仕方・楽器の音色までイメージでき、音楽的である。</li> <li>○色だけでなく形や濃度の違いによって区別できるようにするなど、ユニバーサルデザインの観点での配慮が見られる。</li> <li>○各学年に1ヶ所以上児童が歌っている表情や姿勢が掲載されており、歌うときの参考になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目次で身に付けたい力を確認することで、見通しをもった学習につなげることができている。</li> <li>○鑑賞教材の主な旋律の図形楽譜（旋律線）は、児童が音楽を聴きとる際の大きな手立てとなるだけでなく、指導者にとっても分かりやすくて正確に指導を行うことができている。</li> <li>○紙面全体の配色や文字の大きさ等が配慮されており、児童の理解につながっている。</li> <li>○歌う時の姿勢、演奏するときの姿勢等が写真で示されていることから、児童が実際に歌ったり演奏したりする際の参考となっている。</li> </ul>
講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>■図形楽譜を示すことによって、楽曲の特徴を捉えやすくしている。ユニバーサルデザインの観点では、色だけでなく形状や濃度等でも区別できるように配慮が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学習のねらいや見通しをつかみやすくするための工夫がされているため、全ての児童にとって学習の理解を深める支援となっている。</li> </ul>

6 我が国や諸外国の音楽文化に愛着をもつとともに、和楽器を含めた伝統音楽への関心を育てるよう配慮されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○共通教材にはその曲のもつ文化等に触れた一文があり、歌い継がれる曲をどういう想いで歌うかがわかりやすい。</li> <li>○題材名に「日本の～」が入っている。</li> <li>○低学年に親しみやすいわらべ歌を多く取り入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○童謡や唱歌が取り扱われている共通教材には、どのように歌えばよいか考える際にヒントとなる一文が記載されているため、児童は歌い継がれる歌を思いや意図をもって歌うことができ、伝統音楽への関心の高まりにつながっている。</li> </ul>
講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>■児童に親しみやすいわらべ歌を取り入れているため、低学年から伝統音楽に親しむことができやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■児童に親しみやすいわらべ歌に加えて、郷土の音楽や世界の音楽など、多岐に渡る種類の教材曲を配置しており、我が国の伝統音楽だけでなく諸外国の伝統音楽からその文化等への関心の高まりにつながっている。</li> </ul>

7 音楽全体を味わって聴いたり、価値などを考えたり批評したりする学習活動に言語活動が適切に取り上げられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャラクターを使って、言語活動の進め方を示しており、参考になる。</li> <li>○音楽づくりの活動において発言例が示されている。どのようなつくり方をしたのかがよくわかり、自分のつくりたい音楽をイメージできるため、つくる活動を進めやすい。</li> <li>○並べて扱われている曲が比較しやすく、視点に迫った話し合いがしやすい。</li> <li>○図形楽譜や旋律線を示したり、音楽を鑑賞するポイントがていねいに示されたりしているため、気付いたり感じ取ったりしたことを発言しやすく、それらを基にして話し合い活動を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽づくりの学習活動においては、活動の手立てが明確に示されており、児童が見通しをもって活動することができている。</li> <li>○歌唱の共通教材等の中には今では使われていない言葉が歌詞に使われているが、それらの意味が補足してあることから、当時の言葉の韻律も感じることができ、音楽全体を味わって聴くことができる手立てとなっている。</li> <li>○表現領域と鑑賞領域のどちらについても活動をする際のポイントが丁寧に示されている。そのため、思いや意図をもった話し合い活動を進めることができている。</li> </ul>
講評	<p>■言語活動の例や鑑賞のポイントが示されており、話し合い活動が進めやすい。また、図形楽譜や旋律線があることで、楽曲の特徴について具体的に考えたり話し合ったりすることがしやすくなっている。</p>	<p>■言葉の意味や図形楽譜、旋律線等、楽曲を捉える上で参考となるポイントが示されていることから、児童の学習状況に合わせた言語活動や話し合い活動を行うことができている。</p>

8 他教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がみられ、児童の追究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるような内容が取り入れられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな国のあいさつが掲載されており、外国語活動等につながる。</li> <li>○卒業式（儀式的行事）で歌える曲が他社より1曲ずつ多い。（5年2曲、6年3曲）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○色々な国の音楽が掲載されているページで、図書館活用やICT活用による調べ学習を促している。また、色々な国の挨拶や、それらの国の言語が歌詞としてあげられているので、外国語活動につなげることができた。</li> <li>○第3学年以上にある「音楽のプリズム」では、発達段階に応じて、例えば第4学年では「自然と音」と題し、自然音や環境音と自分との関わりについて考え、音環境を見つめ直すなど、音楽を様々な観点で見つめ直すことができるようになっている。</li> <li>○第3学年以上にある「音楽の歴史をつくった人」では、作曲家の人柄に触れる等、「生き方探究（キャリア）」教育の視点からも指導することができた。</li> </ul>
講評	<p>■外国語活動や生活科の学習、行事とつながる内容の楽曲があり、関連させながら学習をすすめることができる。</p>	<p>■外国語活動等、他教科と相互の関連付けを図ることができる教材が多く、教科横断的な視点での工夫につながっている。</p>

9 基本的人権の尊重や道徳的实践力育成の観点から、内容や表現が適切であるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○「歌でなかよしになろう」では、音楽に合わせて友達を見つけて挨拶をしたり、握手をしたりする活動がある。挨拶する事の大切さや人と関わることのよさを感じるとともに、友達と仲良くしようとする心情を養うことができる。</p> <p>○6年間を通して男女が楽しそうに歌っていたり活動したりしている写真が使われており、性差にとらわれず共に活動する事の大切さを感じることができる。</p>	<p>○道徳科との関連において、「歌でなかよしになろう」では「友情、信頼」、また、共通教材や我が国や郷土の音楽では「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」と関連して指導を行うことができている。</p>
講評	<p>■一緒に歌ったり活動したりする中で人と関わることのよさを感じるとともに、友達と仲良くしようとする心情を養うことができる。</p>	<p>■互いに認め合う気持ちを育むようなイラストや、友達との人間関係を考えるきっかけになる教材等が使用されており、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることの意識づけにつながっている。</p>

【図画工作科】教科書の選定にかかる観点別資料 <使用教科書：日本文教出版>

1 図画工作科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得を図るための工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○題材毎に、学習のめあて（4観点）が提示され、活動内容がわかりやすい。</p> <p>○学習のめあてと振り返りの視点が対応していることで学習で習得された力が明確となっている。</p> <p>○活動の振り返りの視点をページの最後の部分で示しているため、児童が具体的な活動をイメージして自己評価することができる。</p>	<p>○表現及び鑑賞領域の内容が、目次にマークで示されており、指導者と児童が共に学習の見通しをもってバランスよく学習ができています。</p> <p>○学習のめあてと振り返りがわかりやすく示されていることで、意欲的に学習に取り組みやすく、主体的な学習につなげることができています。</p>
講評	<p>■題材のはじめの部分に、図画工作科の基礎的内容につながる学習のめあてが提示されている。そのため児童にとって学びの内容がわかりやすく、単元で身につける基礎的な力を常に意識しながら、主体的な学習に取り組みやすい。</p>	<p>■他社でも学習のめあてと振り返りの視点が示されているが、本書は、示されている位置や色使いが適切で、中心となる目標も示されるなど、児童がめあてを意識しながら主体的に学習することができている。</p>

2 材料、用具の選び方やそれに伴う表現方法が児童の発達段階に適し、安全面にも配慮されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○「気をつけよう」のコーナーで、材料と用具の安全な扱い方の説明が掲載されている。</p> <p>○「つかってみよう ざいりょうとようぐ」のコーナーでは（のこぎり・カッターナイフ・ペンチ等）の正しい使い方、技法的表現（モダンテクニック等）、材料（粘土・用紙類）の特性が記載されている。</p>	<p>○材料・用具の扱い方や、材料・用具を用いた表し方が発達段階に応じて図や写真でわかりやすく記載されており、表現対象に応じた材料や用具の使い方を学びながら、表現の楽しさを実感できる学習指導が展開しやすく、新学習指導要領で示される「児童が自分の感覚や行為を通して理解することや「十分に経験することを通して楽しみながら身に付ける」ことの指導につながっている。</p> <p>○「気をつけよう」を基に、確実にかつ繰り返しの安全指導につながっている。</p>
講評	<p>■材料の特性、場の設定、用具の安全な使い方や効果的な表現方法がわかりやすく写真やイラストで掲載されている。また身近にある材料の工夫や用具の準備の手順も紹介され、安全に配慮した学習を進めやすい。</p>	<p>■材料の特性や場の設定、準備の手順や材料の工夫が適切な表現方法とともに図や写真で示されており、学習過程と結びつけた効果的な指導を行う上で有効である。</p>

3 各内容に偏りがなく、発達の段階に応じて内容の連続性に配慮し、育成する資質や能力と学習内容との関係が分かりやすく、〔共通事項〕を意識した指導計画が作成できるように工夫されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○「中学へ向かって」の部分で、中学への連携にも配慮されている。</p> <p>○子ども達の身近な生活と関わる活動を取り上げたり、発想の手立てとなる部分を拡大して写真で表現している。</p>	<p>○1題材が見開き2ページで構成され、学習のめあてに沿った児童の作品や児童が活動に取り組んでいる写真が掲載されているため、教員は児童が身に付けるべき資質・能力と学習内容の関連を意識して指導を進めることができている。</p> <p>○児童の活動の様子がわかる写真とともに、その活動で育成を図る資質・能力につながる児童への働きかけがキャラクターの吹き出しとして記載されており、表現及び鑑賞の能力の育成に必要な共通事項を大切に学習活動を行う手がかりになっている。</p> <p>○「中学へ向かって」では、中学生の作品などが紹介されており、中学校との学びの連続を意識することにつながっている</p>
講評	<p>■中学校への連携を意識し、小学校での造形活動が、美術科や技術科ではどのように発展するのかなどが、作品を通して具体的に明示され、児童に中学校への期待を持たせやすい。また作品や活動の一部を拡大したり、違った角度からの写真を掲載したりしているため、具体的な表現内容がわかりやすい。</p>	<p>■小学校の図画工作で身に付けた資質・能力が中学校の学習につながっていることを児童が意識しやすい工夫が随所になされており、美術科にもつながる共通事項を大切に学習活動を進めることができている。また、学習のめあてに沿って学習活動が展開できるよう構成が工夫されている。</p>

4 感じ取る力や思考する力を豊かに育てるために、鑑賞活動の内容が工夫されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○鑑賞では、美術作品の筆あとの特徴から感じたことを話し合う題材や、アートカードからストーリーを考える題材など言語活動を意識している学習展開がみられる。</p>	<p>○自身の作品や友だちの作品を見て意見を伝え合う活動の様子が伝わる写真や、「〇〇から感じたことを話し合おう。」「いろいろ試そう。」などの呼びかけが児童自身の感覚や行為などに基づいた能動的な鑑賞活動につながっている。</p>
講評	<p>■学年の実態に合わせて全学年で、鑑賞と表現を関連づけた鑑賞教材を取り上げている。身近な美術作品を用いた鑑賞教材では、子どもの想像力を重視し、豊かな感性を引き出す言葉かけを意識した授業展開で、児童にとっての語彙の拡充につながりやすい。</p>	<p>■全ての題材において活動の様子が写真で示されており、新学習指導要領で重視されている鑑賞と表現を関連付けた学習の充実につながっている。</p>

5 創造性を育む造形活動の充実を図りながら、学習への意欲を高めるように工夫されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○掲載されている写真から、子どもに生き生きとした表情や活動中の真剣な表情から、活動の流れを読み取ることができる。</li> <li>○子どもに語りかけ興味を持たせるように、活動のヒントを示すキャラクターの扱いが優れている。</li> <li>○造形遊びにおいて、材料と場が学校の実情に合わせて対応できるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動中の写真や授業中の掲示物、キャラクターなどを活用することで、児童の学習意欲を高めることを意識した指導計画の作成につながることができている。</li> <li>○様々な材料や場の設定を、児童の活動の様子を紹介する写真で示しているため、自校の実態に合わせた実践を考える時の手立てとなっている。</li> </ul>
講評	<p>■造形活動に対する関心・意欲が高まるように多くの活動事例が写真で掲載され、そこから具体的な活動の様子が理解できる。材料・用具・場の設定にも配慮されているとともに、吹き出しに書いてあることを参考にして、児童主体の学習を進めやすい。</p>	<p>■造形活動に関する工夫された活動事例が豊富に掲載されていることで、質の高い主体的な学習が広がっており、「造形的な見方・考え方」を働かせた授業への改善が見られはじめている。</p>

6 本文の表記や挿絵・写真・図表・グラフ・その他の資料について、内容が適切であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて色覚の特性への配慮がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表紙に児童作品を一部分拡大したものを載せ、裏表紙に作品全体を示している。また、その作品への思いもコメントされている。</li> <li>○余白をうまく使い見やすい配置がされている。</li> <li>○教科の特性から、作品や活動を写真で紹介する部分が多く、その写真においては一部見えにくいところもあるが、それらを説明する文字や学習に必要な事柄に関しては、文字の色や大きさは見えやすく配列されており、色覚の特性への配慮がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多くの写真や絵、図などで構成されているにも関わらず、配色と配置が見やすく、使いやすい。また、文字の大きさなども配慮されており、児童、指導者ともにポイントを理解した学習につながっている。</li> </ul>
講評	<p>■写真と文字との区別が余白を使ってわかりやすく提示され、使われている図版などの色使いが美しく、柔らかい色調である。文字については背景色や大きさにも配慮され、すべての児童にとって見やすくわかりやすい。</p>	<p>■適切な余白の配置と親しみやすい色合いによって見やすい構成となっており、また、文字には色覚の特性への配慮がなされている。さらに、資料の内容は活動の姿を多く示していて、授業の充実につながっている。</p>

7 表現や鑑賞の能力を育成するという観点から、形や色（色彩）等をとらえながら、発想や構想を練ったり、鑑賞する中で話し合ったりするなどの学習活動が適切に取り上げられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○「楽しいな、おもしろいな」では、作品の展示方法や遊び方、身の回りへの役立て方が紹介されていて、発想・構想をするときに、見通しを持つことができる。</p> <p>○「絵に表す」領域では、描いたときの自分の気持ちや伝えたいこと、形や色についての工夫を、発達段階に応じて鑑賞カードに丁寧に言葉で表現していることで、表現・鑑賞活動の参考となる。</p>	<p>○豊富な学習活動の場面の写真を発想や構想を高める手がかりとして活用することにより、児童が学習活動へのイメージを高め、主体的な学びへつなげることができている。</p> <p>○紹介されている鑑賞カードなどを参考にして、児童の思いや表したいことを理解したり、授業改善に役立てることができている。</p>
講評	<p>■各学年の系統に配慮しながら、表現活動を日常生活に活用したり、工夫された展示方法を紹介したりしている。作品に対する児童の思いを鑑賞カードで紹介することで、児童相互の交流を深め、発想や構想の能力や鑑賞の能力を高めやすい。</p>	<p>■発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力などを発揮している児童の学習の姿や写真、鑑賞カードなど多様な学習方法が示されることで、特に活動を重視した授業改善につながっている。</p>

8 他教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がみられ、児童の追究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるような内容が取り入れられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○図画工作を通して他学年との交流、地域とのふれあい、社会とのつながりを紹介し、外国の作品建築物なども取り上げている。また、京都市教育委員会後援の絵画展に関連する「物語を絵にする題材」が取り上げられている。</p> <p>○「図画工作の広がり」のページが充実。例えば「未来を見つめて」には震災復興の内容がある。</p> <p>○2人の若いアーティストの紹介は他社も取り上げているが、生き方探究教育の視点と合致させている点が優れている。</p>	<p>○諸外国の建築物や日本の伝統的な文化遺産などを取り上げることで、自他の伝統文化を大切に思い尊重することへの意欲の向上につながっている。</p> <p>○アーティストの紹介のページでは、作品だけでなく、アーティスト自身の生き方や作品が社会に与えた影響にも触れられており、児童が多様な視点で学習することができている。</p>
講評	<p>■美術館との連携や、地域社会とのつながりや将来の自分を見つめる視点を重視することなど、生き方探究教育との関わりが見られる。自分たちの作品が生活、地域、時間を超えてつながっていることを理解し、人の役に立ったり、励ましたりできる具体例を写真等で知ることにより、自尊感情を育みやすい。また京都市で取り組んでいる動く仕組みを使ったおもちゃや、お話しを絵にする題材がすべての学年に掲載されていて、児童が意欲的に活動を進めやすい。</p>	<p>■地域社会や生き方探究教育との関連を重視した構成により、児童が図画工作科での学びを自分の日常生活や地域社会とのつながり、自分の将来等に広げて考える態度につながっている。また、そのような構成は美術館や文化施設等を実際に活用した活動につなげやすく、指導者の学習計画の充実に寄与している。</p>

9 基本的人権の尊重や道徳的実践力育成の観点から、内容や表現が適切であるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○「ぞうけいのもり」では目の不自由な人が触ってわかる案内板「触知図」や、筆を握ることができない人のためにつくられた「指につけてかく筆」などを紹介し、そのデザインを工夫し、活用しやすくすることで、いろいろな人とふれあうことのよさを示している。</p> <p>○片付け方を意識させる表記があり、次に使う人や、不要品を処分してくれる人に対して配慮した記述がある。</p> <p>○道徳に関わることを「ことりマーク」でしめし、命や仲間などを大切にすることを意識している。</p>	<p>○「ぞうけいのもり」のページを活用して、児童が形や色からイメージを広げて想像することを楽しみ、表現への意欲を高めたり、他者理解や他文化理解にもつなげたりすることができている。</p> <p>○図画工作科は片付ける活動も授業の大切な一部であり、次に使う人への配慮、ものを大切に作る心、環境に配慮する気持ちなど、様々な人やものを思いやる気持ちを育てることにつながっている。</p>
講評	<p>■道徳や人権尊重の視点から、実際に使う人の気持ちや機能的デザインの工夫を紹介することで、感性を働かせ、心豊かに生きることを意識し、生命尊重の態度や相手を思いやる気持ちを育てやすい。</p>	<p>■使う人の気持ちを考えたり、使いやすいものを考えたりして発想や構想をし、材料や用具を工夫して表現する過程を通して、周囲の人と良い関係を築き、よりよく生きることにつながることができている。</p>

【家庭科】教科書の選定にかかる観点別資料 <使用教科書：東京書籍>

1 家庭科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得を図るための工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解，課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本となる知識や技能のポイントが「いつも確かめよう」のページにまとめられ、わかりやすい。</li> <li>○巻末の「いつも確かめよう」は、11ページにわたり、イラストや実物大の写真によって基礎的な知識や技能の確認ができ、児童にとっての支援となりやすい。</li> <li>○「これだけはできるようになるう」「ふり返ろう」「D o !活動」等、ワークシートとして記入し表現できるように工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「いつも確かめよう」には写真とともに実習の具体的な場面でのポイントがまとめられており、児童が安心して実習に取り組むことができている。</li> <li>○「学習のめあて」と「ふり返ろう」を活用することで児童が見通しを持ちやすく、題材で身に付けるべき資質・能力を意識して学習に取り組むことができている。</li> </ul>
講評	<p>■基礎・基本となる知識・技能がイラストや実物大写真でまとめられていて、児童が確認しやすい。学習のふり返りの記入やワークシートとしての記入ができるように工夫されている。</p>	<p>■「生活の営みに係る見方・考え方」に基づいて、身に付けるべき資質・能力を意識した授業が展開されており、また、「いつも確かめよう」を活用することで実践的・体験的な活動に取り組みやすく、児童の基礎的・基本的な内容の習得につなげることができている。</p>

2 材料，用具の選び方や扱い方など，安全面に配慮されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解，課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「安全」マークで作業時の安全，衛生面での注意箇所を写真やイラスト等で示し，注意事項も書かれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○写真や図を多く用いて家庭で調理等の経験がない児童に対しても注意事項が理解できるように配慮がされており，家庭での実践につなげやすい。</li> <li>○家電製品の扱い方や，熱中症対策など，実習だけでなくあらゆる活動場面を想定して記載されており，児童の安全に対する意識を高めることにつながっている。</li> </ul>
講評	<p>■「安全」マークを使用し，作業時の安全，衛生面での注意箇所や注意事項が書かれている。</p>	<p>■家庭で調理等の経験がない児童や，作業が苦手な児童も図やイラスト，説明を通して注意事項が理解しやすく，安全な学習活動に取り組んでいる。</p>

3 児童の家庭生活への関心を高め、実践的・体験的な学習活動を通して、衣食住などの生活の営みや我が国の伝統的な食文化を大切にしたい意欲や態度をはぐくめるように配慮・工夫されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学習のめあて」で、まず興味・関心をもって学習に入り、最後に「ふり返ろう」で自己評価ができるので、児童の関心を高めるように工夫している。</li> <li>○実習ページの最後のチェック欄で、取り組んだことを自分で自己評価できるようになっている。</li> <li>○「日本の伝統」コーナーで、伝統的な内容を児童に意識させている部分が多く、図入りで詳しく説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学習のめあて」によって児童が見通しをもった学習に取り組めており、また、実習後に自己評価をすることで、学習した内容を生活で生かそうとする意欲の向上につなげることができている。</li> <li>○「学習のめあて」の達成に向け実践的・体験的な活動を促す「Do! 活動」を活用することで、家庭生活での実践と関連を図ることができている。</li> <li>○新学習指導要領で示されている「日本の生活文化」の内容が、題材ごとに分かりやすく記載されており、児童が大切さに気付く学習につなげやすい。</li> </ul>
講評	<p>■小題材ごとに「学習のめあて」があり、児童の興味・関心をもたせている。また、題材終わりの「ふり返ろう」や実習ページの最後のチェック欄で自己評価ができるようになっている。「日本の伝統」マークで、伝統的な内容を図入りで詳しく説明している。</p>	<p>■関連するページ等を活用することで、児童が見通しをもって、実践的・体験的な活動を中心とした学習を進めることができおり、学習した内容を生活で生かし、生活をよりよくしようとする実践的な態度の育成につながっている。</p>

4 家庭生活を総合的にとらえる視点で、家族の生活と関連させながら衣食住を扱うように配慮されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一番初めの学習で「家庭生活と家族を見つめよう」として6ページ配分され、家庭・家族とのかかわりを重視している。</li> <li>○全ての題材で家庭生活を想定させる形になっていて、学習のめあてに「生活に生かそう」という項目が表記されている。</li> <li>○すべての題材が3ステップで構成されていて、「見つめよう」→「計画しよう・活動しよう」→「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という流れで進められるよう工夫されていて、学習の見通しがもちやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3ステップの3つ目に「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」が設定されており、問題解決型の学習が展開しやすく、児童の主体的・対話的な学びにつながっている。</li> <li>○家族や家庭生活と結びついた題材が豊富で、児童が学習で身に付けた知識や技能を生活の中で生かそうとする意欲を喚起しやすい。</li> </ul>
講評	<p>■すべての題材が3ステップで構成されていて、学習の流れを明確にする工夫がされている。最初の学習で、家庭・家族とのかかわりが取り上げられているほか、学習のめあてに「生活に生かそう」という項目が表記され、家族の生活と関連させた構成になっている。</p>	<p>■題材や構成が工夫されており、家庭生活や家族と関連づけながら問題解決的な学習を進めることができている。これらの学習を通して児童が家族を大切にしたい心情を育み、学習内容を生活に生かそうとする意欲の向上につながっている。</p>

5 小・中学校の学習内容の体系化を図りつつ、学校・地域の特性を生かし、2年間の学習を見通した弾力的な指導計画が作成できるように配慮されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭の見開きページの目次が、学習の流れを視覚的に捉えやすいように整理されており、問題解決的に学習が進められるような題材構成により、見通しがもちやすい。</li> <li>○「成長の記録」ページで、学習のふり返りができる。</li> <li>○5, 6年の区切りがなく、2年間を見通した弾力的な指導計画が作成できるように配慮している。</li> <li>○巻末の「これからの私たち」のページで、中学校の学習をイメージさせている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目次を活用することで学習の見通しをもたせることができている。また、「成長の記録」のページを活用し、学習を通した変容を児童自身が確認することで、自己肯定感の向上につなげやすい。</li> <li>○巻末に取り上げられている持続可能な社会の構築に関する内容は、中学校の学習につながっており、中学校との接続を意識した学習が展開されている。</li> <li>○他教科と関連付けながら、2年間を見通した弾力的な指導計画を構築しやすい構成の工夫により、指導の質を高めることにつながっている。</li> </ul>
講評	<p>■すべての題材において問題解決的に学習が進められるような構成になっており、学習の見通しがもちやすい。巻頭の「成長の記録」ページで、学習のふり返りをしながら進めていく工夫や学年の区切りを入れずに、学校や地域の特性を生かした弾力的な指導計画を作成できるように配慮されている。</p>	<p>■問題解決的な学習や弾力的な指導計画の構築ができるような構成になっており、児童が学習の見通しと達成感をもって取り組むことができている。</p>

6 本文の表記や挿絵・写真・図表・グラフ・その他の資料について、内容が適切であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて色覚の特性への配慮がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目次の番号が内容別に色分けされていて見やすい。また、全体的に優しい色遣いである。</li> <li>○本文中の太字が見やすく、大切な用語を意識しやすい。</li> <li>○題材の冒頭に学習テーマと関連したイラストや写真が大きく掲載されるなど、視覚的な情報が多く児童の意欲を高めることができる。</li> <li>○図や表、資料など割付のバリエーションが豊かである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の目線で実物大の写真が掲載されるなど、作業手順が分かりやすく、イメージしながら実習を円滑に進めることにつながっている。また、布をたつ場面などでは、右ききの場合と左ききの場合の両方の写真が掲載されており、誰もが安心して授業に取り組める。</li> <li>○本文中の太字が見やすく、重要な語句を確認することにつながっている。</li> <li>○題材の学習テーマを想起させる写真やイラストが児童の学習意欲を高める上で効果的である。</li> </ul>
講評	<p>■目次の文字が内容別に色分けされていたり、本文中の太字によって大切な語句を意識できる工夫がされている。各題材の学習テーマに関連したイラストや写真を掲載し、視覚的な情報により児童の関心・意欲を高めている。また、紙面構成、割付のバリエーションがさまざまに工夫されている。</p>	<p>■工夫されたレイアウトや色使いにより、ポイントをおさえた指導ができている。また、実習場面での注意事項が写真やイラストを多用して記載されており、全ての児童が安全に取り組むことにつながっており、知識・技能の確実な定着が図られている。</p>

7 衣食住等に関する語彙の意味を実感を伴って理解する学習活動や自分の生活における課題を解決するために、言葉や図表及び概念などを用いて説明を行うなどの学習活動が適切に取り上げられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「D○活動」で、話し合いのもととなる資料が示され、調べ学習や発表会など学習形式が豊富である。</li> <li>○さし絵の人物にふき出しが多くあり、学習を広げるヒントになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「D○!活動」を活用することで、実習後に気付いたことや感じたことを話し合う活動につながっている。</li> <li>○生活に密着した挿絵の人物のコメントが、児童が考えを深めるきっかけとなり、実感を伴った理解につながっている。</li> </ul>
講評	<p>■話し合いのもととなる資料が示され、調べ学習や発表会などの学習形式が豊富で、思考力・判断力・表現力等の言語活動の工夫がされている。また、さし絵の登場人物にふき出しが多くあり、学習を広げるヒントになっている。</p>	<p>■実践的・体験的な学習活動を促す事例が多く掲載されており、「生活の営みに係る見方・考え方」に基づいた知識・技能と思考力・判断力・表現力等の育成に向けた授業が展開されている。</p>

8 他教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がみられ、児童の追究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるような内容が取り入れられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書を見ながら自主的に活動することが可能な実習例（買い物シュミレーション）を示して、さらに活動を広げて取り組むことができるようにしている。</li> <li>○「プロに聞く！」のコーナーで、専門家の知識や経験に触れることができる。</li> <li>○「環境」マークで、環境に配慮した生活についてワンポイント的に示している。</li> <li>○「自由研究」ページで発展的な学習が進められるようになっている。</li> <li>○他教科との関連について「関連」として記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各題材の中に設定されている環境教育、生き方探究（キャリア）教育等のコーナーを活用することで、他教科と関連付けた学習を進めることができている。</li> <li>○「自由研究」ページが学習を通して身に付けた基礎的・基本的な知識や技能が日常生活で生かせるよう設定されており、児童の学習意欲の向上を喚起しやすい。</li> </ul>
講評	<p>■教科書を見ながら活動することが可能な実習例を示して、自主的な活動を支援する工夫がされている。専門家の知識や経験に触れられるコーナーを設けていたり、「自由研究」ページで発展的な学習を進められるようにしている。環境に配慮した生活についてはワンポイント的に示したり、他教科との関連については「関連」の文字で示したりしている。</p>	<p>■今日的で多様な課題が家庭科の学習内容とのつながりを意識して取り扱われており、家庭科での学びを他教科等で生かすことにつながっている。</p>

9 基本的人権の尊重や道徳的实践力育成の観点から、内容や表現が適切であるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<p>○男性の育児参画や高齢者の活躍例等，男女の偏りがないように配慮している。</p> <p>○巻末の「いつも確かめよう」のコーナーで，左利きの児童に対してしっかりと配慮をしている。</p>	<p>○男性の育児参画や高齢者の活躍例等が掲載されており，共生社会の視点に気付かせやすい。</p> <p>○2年間の学習のはじめに家庭生活を見つめなおす活動が設定されており，家庭生活を大切に する心情を育むことにつなげやすい。</p>
講評	<p>■家族の協力にかかわる内容については，イラストや写真で配慮されている。左利き児童に対して，基礎・基本の技能にかかわる内容の部分がまとめてある「いつも確かめよう」に写真やイラストでの記載があり，配慮されている。</p>	<p>■イラストや写真が配慮されていることにより，家族との関わりを大切にする「だんらん」や「協力・協働」への意識を高めることができている。</p>

【体育科（保健領域）】教科書の選定にかかる観点別資料 <使用教科書：学研教育みらい>

1 体育科（保健）の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得を図るための工夫がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の最初のページに単元全体で学習する内容が簡単に記されている。</li> <li>○簡潔な文章で、毎時間「ここで学ぶこと」として明示されていることで、見直しをもって基礎的・基本的な内容の習得につなげる工夫としている。</li> <li>○単元の最後に単元全体を振り返るページがあり、知識を生かした書き込みできるよう工夫してあるので、自己評価に活用でき、自己の生活につなげるような記述もできるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に健康への興味・関心につながる文章が記されていることで、保健学習の目標を明確にすることができている。</li> <li>○単元の最初のページに単元全体でどのようなことを学ぶのか簡単に記されており、学習の見直しをもった導入に取り組めている。</li> <li>○単元末に設定されている学習のまとめには自己評価とともに言語活動を促すような形式で振り返りができるよう工夫されており、児童が学んだことを生かして「なにができるようになるか」ということを考える手立てとなっている。</li> </ul>
講評	<p>■単元で学習する内容や各時間に学習する内容が簡潔に示されており、学習の見直しを持って学習を進めることができる。また、「話し合ってみよう」「調べてみよう」などの学習活動が示されており、学習の流れとみちすじが分かりやすい。学習のまとめでは、単元全体を振り返ることができるよう工夫されており、合わせて学習状況を自己評価できるようになっている。</p>	<p>■挿絵と学習課題がバランスよく配列され、さらには「考えてみよう」「調べてみよう」などの学習活動も効果的に盛り込まれており、児童・教員にとって学習の流れがわかりやすく基礎的・基本的な内容の習得につなげることができる。</p>

2 生活や健康について興味や関心をもつ内容であり、自己の健康や安全の向上に活用できるように工夫されているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のまとめは、「学びを活かして」「明日につなげる」の欄で、生活の中で生かすことにつなげて考えて記述するようになっている。</li> <li>○子どもたちの身近な生活の中から、危険の防止や心の健康について迫れるような資料が多く見られる。</li> <li>○心の健康など、メンタルヘルスを扱う単元では、淡いスケッチ風のイラストを使うなど、自分の内面向き合えるような配慮がみられる。</li> <li>○単元ごとの学習のまとめでは、学習の振り返りだけでなく、学びをいかしてこれからどのようにしたいか、もっと学習したいことは何かといった問いかけがあり、健康や安全意識の向上につながりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「心の健康」などの思春期の心の変化を扱う単元では、児童の実態を踏まえた内容を取り上げ、それらへの対処や解決手段の例などが適切に記載されており、児童の安心感が生まれやすい。</li> <li>○「けがの防止」や「病気の予防」の単元では、「保健の見方・考え方」と結びつけ、健康で安全な生活についての具体的なイメージを捉えることで、普段の生活に生かしていこうという心情の育成につながっている。</li> <li>○単元ごとの学習のまとめには、「明日につなげる」という項目が入っており、「保健領域の目指す資質・能力」を意識しながら健康や安全の意識の向上を図ることができた。</li> <li>○「けがの発生」の単元では、小学生の事故の発生状況が掲載されているが、各校の実態に合わせて必要なデータを児童に示すなどにより、危機回避意識の向上につながる授業もみられている。</li> <li>○新学習指導要領に示されている主体的に健康の保持増進や回復に取り組む態度を養う「学びに向かう力・人間性等」につなげることができる目標、内容が適切に設定されている。</li> </ul>
講評	<p>■子どもたちの身近な生活の中から、危険の防止や心の健康について迫るような資料が多く、また、『かつよう』や『学習のまとめ』によって、学習したことを自分の生活と結びつけることを意識できるような工夫がほぼ毎時間みられる。登場するキャラクターの使い分けやイラストのタッチなどの変化をつけることで、内面に迫る工夫もみられる。</p>	<p>■自分たちの身近な生活に関連した事例や資料を参考に、今後の生活や心身の健康の保持増進と関連付けることを意識させる授業展開により、「学びに向かう力」の育成につなげることができている。</p>

3 児童の興味・関心を広げ、自ら学ぶ力を育成するために発展的な学習につながるような内容が適切に取り入れられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容につながる発展的な資料が非常に豊富で、まとめて載せられているため、取捨選択して発展的な学習につなげやすいように工夫している。</li> <li>○発展的な調べ学習に活用ができる。『もっと知りたい調べたい』が単元の中に大きく取り上げられている。</li> <li>○自然災害に関する写真や図が豊富に掲載され、児童の関心を引き出し、さらなる探究意欲につなげる工夫がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「もっと知りたい・調べたい」のページには、児童の興味・関心を引き出し、また、教師が取捨選択しながら発展的に学習を深められるような専門的内容が掲載されており、授業においても効果的に活用できた。</li> <li>○がんの起こり方や抵抗力の仕組み、自然災害への備えなどについて、発展的な学習につなげやすいように写真や図解などの資料が豊富であり、児童の興味・関心を高める授業につなげることができている。</li> </ul>
講評	<p>■発展的な学習につながる資料が豊富に掲載されていて、子どもが興味・関心をもったり、すすんで調べようしたりする意欲が高まるように工夫している。また、『もっと知りたい・調べたい』が単元の中に大きく取り上げられ、興味・関心をもった内容について、探究的な学習につなげることができる。</p>	<p>■学校や児童の実態に合わせ「もっと知りたい・調べたい」を活用することで、児童の興味・関心を高め、探究的な学習につなげることができている。</p>

4 本文の表記や挿絵・写真・図表・グラフ・その他の資料について、内容が適切であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて色覚の特性への配慮がされているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひとつひとつの資料が大きくはっきりと見やすく、よく目を引くような配色やデザインが工夫されている。</li> <li>○紙面が大きいこともあり、程よい余白もあって、バランスよく配置されて読みやすく、理解しやすい工夫につなげている。</li> <li>○本文中の重要語句は太字で表し、太字の強調箇所はゴシック体で使用され、文字がつぶれにくくはっきりと見やすいものになっている。</li> <li>○中には既習の漢字にもルビが打たれるなど、多くの漢字にフリガナが付けてあり、幅広い子どもに対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゆとりのある構成となっており、学習内容がバランスよく配置されていて児童にとっても読みやすい。</li> <li>○文字の大きさやフォントについてもたいへんすっきりしており、字がくっきりと書かれていることと、適宜ふり仮名が打たれていることが読みやすさにつながっている。</li> </ul>
講評	<p>■A4版と大きな紙面に、写真や図が本文とバランスよく配置され、一つ一つの資料が見やすく、よく目を引くように配色やデザインが工夫されている。本文中の重要語句は太字で表し、太字の強調箇所はゴシック体で使用され、文字がつぶれにくくはっきりと見やすいものになっている。</p>	<p>■資料や写真が工夫して配置されていることや、文字の大きさやフォントのバランスがよいことで、順序良く学習内容を押さえることができ、効率よく学習を進めることができている。</p>

5 3年生から中学校・高等学校までの、保健学習の系統性・発展性をふまえ、単元構成や分量が適切なもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「けがの防止」は4時間構成となっているが、5時間構成での扱いにも対応でき、柔軟な学習ができるよう工夫している。</li> <li>○「関連」の表記で、既習の保健学習の内容と、どのように関連し発展してきているのが表記されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「関連」の項目を活用し、他教科との関連性を図り、教科横断的に学習を組み立てるなどの授業の工夫がみられる。</li> </ul>
講評	<p>■年間8時間程度を2単元で学習する5年生の単元では、「けがの防止」の犯罪被害の防止について弾力的な時間配分ができるようになっており、4時間構成でも5時間構成でも学習できるよう工夫されている。またその分、心の健康を3時間から4時間に増やして学習することもできるようになっている。</p>	<p>■児童や学校の実態に合わせて弾力的な時間配分ができる構成となっている。他教科や運動領域と関連付けた学習を行うことで、系統的な学びにつなげることができている。</p>

6 健康な生活に向けての課題解決のために、習得した知識を活用し、多様な考えを引き出したり、絵や図から予想されることを話し合ったりするなどの学習活動が適切に取り上げられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学習のまとめ」のページに、『学習の振り返り』で既習内容の理解状況をチェックする欄や、学習したことを生かして考えること、明日からの生活に生かせるよう、書きこむ欄を設けている。</li> <li>○1時間の学習の最後の部分に、学習した知識をもとに考え、書き込むところ（「かつよう」）が設けられており、理解を深められるように工夫している。</li> <li>○「話し合ってみよう」や「考えてみよう」など、思考につながる学習活動に生かす資料が大きく、豊富に配置されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元の最後にある「学習のまとめ」のページには、既習内容の理解状況をチェックする「学習の振り返り」、学習したことを生かして考える「学びを生かして」、生活に生かせるよう自分の考えを書く「明日につなげる」が設けられており、習得した知識を実生活で生かすことにつながっている。</li> <li>○毎時間設定されている「考えてみよう」と「かつよう」の項目を活用することで、学習活動を進める際の思考力・判断力・表現力等の向上や知識、理解の深まりにつながられている。</li> </ul>
講評	<p>■習得した知識を活用して行う、「話し合ってみよう」や「考えてみよう」の他に、「かつよう」のコーナーもほぼ毎時間設定されていて、書き込みをすることで思考力や判断力を育て、生活の中でも実践していける態度につなげられるようになっている。また、そのような学習活動に生かす資料も充実しており、豊かな言語活動につながる可能性を秘めている。</p>	<p>■何を知っていて、何ができるかということ自分の言葉で、筋道を立てて書くことができるように毎時間記述する欄が設けられており、言語活動を通して学んだことを生活の中で実践していく態度の育成につながっている。</p>

7 他教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連に配慮がみられ、児童の追究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるような内容が取り入れられているもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元初めのページで「関連」として、他教科との関連の記載のほか、他学年の保健学習との関連についての記載も多く、系統性を意識しながら学習することができる。</li> <li>○発展的な学習についての記述が充実しており、写真を豊富に掲載するなど興味、関心をもてるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「関連」を活用し、他学年・他教科の学習内容との関連を意識することで、児童の追究意欲の向上や思考の系統性を重視した学習につなげることができた。</li> <li>○防災教育やがん教育、食育など発展的な学習につながる資料が豊富に掲載されており、カリキュラム・マネジメントの視点を意識しながら、特別活動や総合的な学習の時間と関連づけた指導に生かしている。</li> </ul>
講評	<p>■「関連」のマークで他教科や他学年での学習内容とのつながりを示し、関連がわかりやすくなっている。また、発展的な学習につながる資料として、自然災害に関する写真や図が2ページにわたって掲載されており、防災について興味・関心を引くものとなっている。</p>	<p>■発展的学習「もっと知りたい・調べたい」のページには、豊富な写真や資料、科学的な見地などが掲載されており、思考力・判断力・表現力等を育成しながら、更なる追究意欲を引き出す指導の充実につながっている。</p>

8 基本的人権の尊重や道徳的実践力育成の観点から、内容や表現が適切であるもの。

	平成26年度採択時の調査研究	4年間の使用実績に基づく見解、課題等
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表紙や目次ページのイラストには、いろんな世代やさまざまな職業、人種、車いすを使用する人などが掲載されており、幅広い見方ができるような配慮をしている。</li> <li>○男女とも「～さん」と表記されており、男女平等教育の視点からの配慮がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に掲載されている文章やイラストと写真を用いることで、児童に健康とは何かを問いかけ、また、多様な人々の存在を知り、共生する社会を目指すことの重要性を気づかせることにつながっている。</li> </ul>
講評	<p>■表紙や目次のページのイラストには、障害のある人をはじめ、様々な世代や人種、職業の人物が描かれており、多様な人とのつながりを意識し、共に生きることやどのような方でも受け入れる社会の大切さを感じることができるものとなっている。</p>	<p>■文章や写真、イラスト等を活用することで、一人一人の基本的人権を大切にし、多様な人々とよりよく共生していく社会を作り上げていくことの大切さを意識することにつながっている。</p>